



2025 全国学力・学習状況調査 結果分析

令和7年 10月

四日市市教育委員会

目 次

1	「全国学力・学習状況調査結果」5年間の推移	1
2	教科別分析	
	小学校国語	2
	小学校算数	4
	小学校理科	6
	中学校国語	8
	中学校数学	10
	中学校理科	12
3	四日市市の児童生徒質問紙調査の結果より	
	(1) 生活習慣・学習習慣	14
	(2) 学力層と教科に関する意識の関係	16
	(3) I C Tの活用状況	18
	(4) 地域との関わり	19
	(5) ウェルビーイング	20
	(6) 自己肯定感に関わる意識	21
4	「全国学力・学習状況調査」を活用した授業づくり	23
5	参考資料	40

1 全国学力・学習状況調査結果の5年間の推移（R3～）

※ 平成29年度から、文部科学省の結果提供（平均正答率）は、本市と三重県は整数値、全国は小数値となっています。

※ 数値は平均正答率。中学校理科は、IRT スコアで示されています。

小学校		国語	算数	理科
令和3年度	本市	65	70	
	三重県	64	69	
	全国（公立）	64.7	70.2	
令和4年度	本市	66	63	65
	三重県	65	62	63
	全国（公立）	65.6	63.2	63.3
令和5年度	本市	67	61	
	三重県	67	62	
	全国（公立）	67.2	62.5	
令和6年度	本市	67	62	
	三重県	67	62	
	全国（公立）	67.7	63.4	
令和7年度	本市	66	55	56
	三重県	66	57	56
	全国（公立）	66.8	58.0	57.1

中学校		国語	数学	理科	英語			
					聞く	読む	書く	話す
令和３年度	本市	65	59					
	三重県	63	58					
	全国（公立）	64.6	57.2					
令和４年度	本市	69	52	49				
	三重県	68	52	48				
	全国（公立）	69.0	51.4	49.3				
令和５年度	本市	71	53		47			
	三重県	69	51		45			
	全国（公立）	69.8	51.0		45.6			
令和６年度	本市	57	54					
	三重県	57	53					
	全国（公立）	58.1	52.5					
令和７年度	本市	54	49	500				
	三重県	53	47	498				
	全国（公立）	54.3	48.3	503				

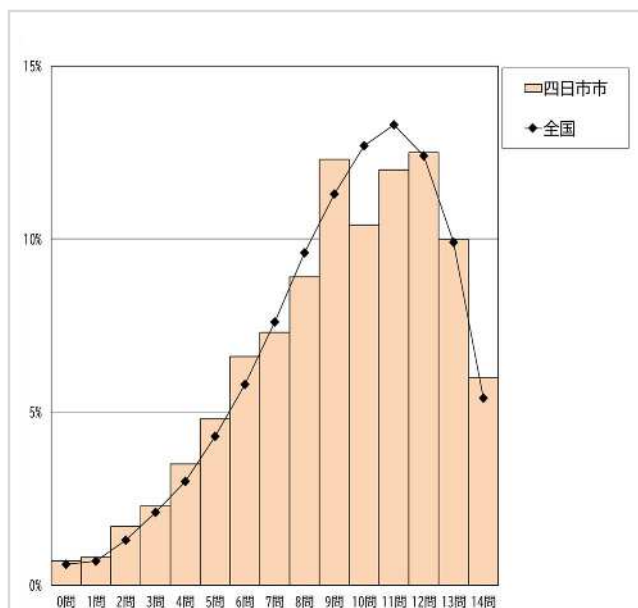
※ 理科の IRT とは、国際的な学力調査（PISA、TIMSS など）や英語資格・検定試験（TOEIC・TOEFL など）で採用されているテスト理論です。この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較できます。IRT スコアは IRT に基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500 を基準にした得点で表すものです。

2 教科別分析（小学校 国語）



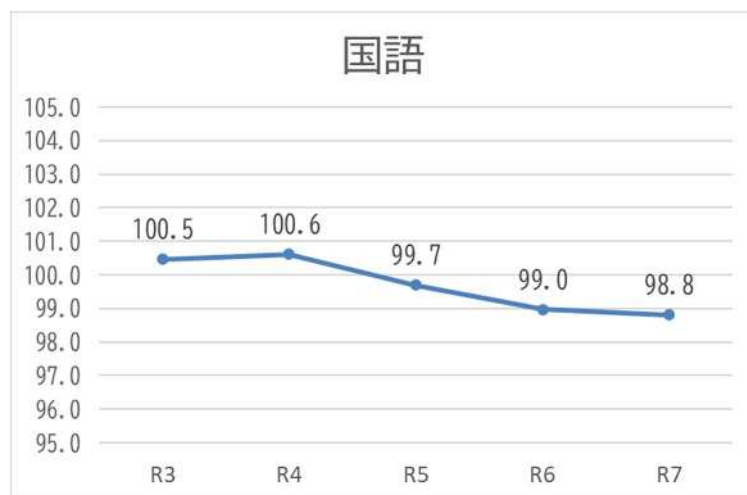
小学校国語の平均正答率は66%で全国を下回る結果でした。
 全国と比べると結果の散らばりがみられます。そのため、学力層についてもA層、D層の割合が高い傾向が見られます。
 また、領域別においては、話すこと・聞くことの正答率が上がり、読むことの正答率が低くなっています。

(1) 正答数分布



R7	四日市市	全国
平均正答率	66	66.8
中央値	10.0	10.0
標準偏差	3.2	3.0

(2) 全国値を100としたときの本市正答率の推移



(3) 本市の学力層(四分位)の結果



(4) 学習指導要領の領域別正答率推移

領域	R3	R4	R5	R6	R7
話すこと・聞くこと	99.1	97.0	102.3	98.0	101.7
書くこと	94.1	92.6	91.8	100.7	99.3
読むこと	94.7	98.8	98.9	100.8	96.3



(5) 調査問題の結果から課題が見られた問題

大問3二(2)	事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができるかどうかをみる問題
---------	---

正答率	
全国	51.3
四日市市	48.9

全国比-2.4ポイント

【資料2】
「あたらしい」は新しい形
「あたらしい」は「新しい」と言います。でも、大昔の奈良時代には「あらたし」と言っていました。今でも、「新しく」という意味で「あらたし」と言っています。ところが、次の平安時代には「あらたし」が「あらたし」になりました。「た」と「ら」の順番が入れかわっています。つまり、「あらたし」に比べれば、「あらたらし」は新しい形です。それが変化して、今では「あたらしい」になりました。
(飯間浩明「日本語をつかまえる」による)

【資料3】
「あたらしい」は新しい形
「あたらしい」という言葉は「ふいんき」と言う人が多くなりました。こう言うと、「たいへんだ、日本語がこわれてしまおう」と思う人がいるかもしれません。でも、心配しないでください。にたようなことは、昔からよくあることです。「できたばかり、まだ古くない」という意味で、私たちは「新しい」と言います。でも、大昔の奈良時代には「あらたし」と言っていました。今でも、「新しく」という意味で「あらたし」と言っています。ところが、次の平安時代には「あらたし」が「あらたし」になりました。「た」と「ら」の順番が入れかわっています。つまり、「あらたし」に比べれば、「あらたらし」は新しい形です。それが変化して、今では「あたらしい」になりました。
(飯間浩明「日本語をつかまえる」による)

【誤答例】
【資料3】を読み、「とても」という言葉の変化について、「時代とともにものの使い方が変わる」と捉えたり、「世代によるものの呼び方のちがいが」と捉えたりしている。

【要旨の把握】
要旨を把握するためには、文章の各部分だけを取り上げるのではなく、文章全体の構成を捉えることが重要です。書き手がどのような事実を理由や事例として挙げているかを書き出し、書き手の考えを自分の言葉で短くまとめるなどして、内容の中心となる事柄などを捉えることが効果的です。(読解力を育む「20の観点」⑦要旨)

大問3三(2)	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる問題
---------	---

正答率	
全国	56.3
四日市市	51.1

全国比-5.2ポイント

【資料3】
「あたらしい」は新しい形
「あたらしい」という言葉は「ふいんき」と言う人が多くなりました。こう言うと、「たいへんだ、日本語がこわれてしまおう」と思う人がいるかもしれません。でも、心配しないでください。にたようなことは、昔からよくあることです。「できたばかり、まだ古くない」という意味で、私たちは「新しい」と言います。でも、大昔の奈良時代には「あらたし」と言っていました。今でも、「新しく」という意味で「あらたし」と言っています。ところが、次の平安時代には「あらたし」が「あらたし」になりました。「た」と「ら」の順番が入れかわっています。つまり、「あらたし」に比べれば、「あらたらし」は新しい形です。それが変化して、今では「あたらしい」になりました。
(飯間浩明「日本語をつかまえる」による)

【資料4】
「雨模様」の意味のとらえ方
(文化庁「令和4年度国語に関する世論調査」による。)

(注)紙面の関係で資料1～4は一部分のみ掲載している。

【資料1】
言葉は、年月とともに変化していくものです。かつて規範的であると考えられていた言葉の形や意味が、現代においては通用しなくなったり、使い方が変わってたりする場合は少なくありません。

【誤答例】
納得した理由を複数の資料から取り上げて書けず、条件②を満たさない。

【文章と図表を合わせて読む】
複数の資料を結び付け、それぞれの関係を考えるためには、資料や語句を丸で囲んだり、線でつないだりすることで、視覚的に捉えながら読むことが効果的です。
(読解力を育む「20の観点」④図や表と合わせて読む)

2 教科別分析（小学校 算数）

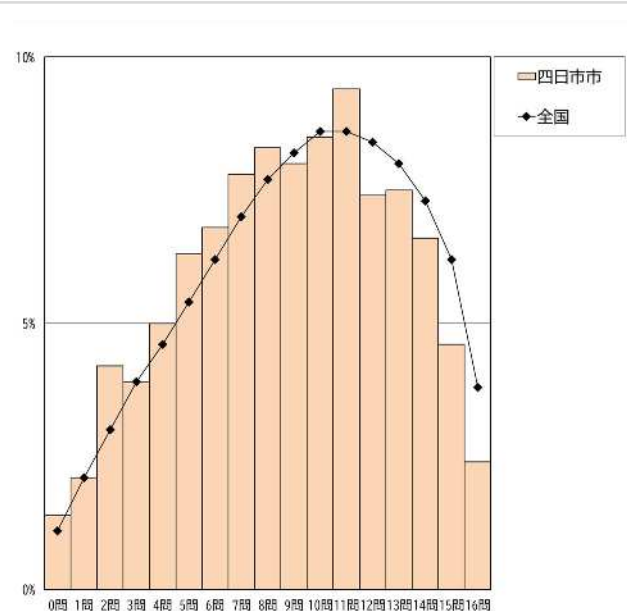


小学校算数の平均正答率は55%で全国を下回る結果でした。

学力層の結果からはC層、D層の割合が高くなっていることから、全体的に学力が低下しています。

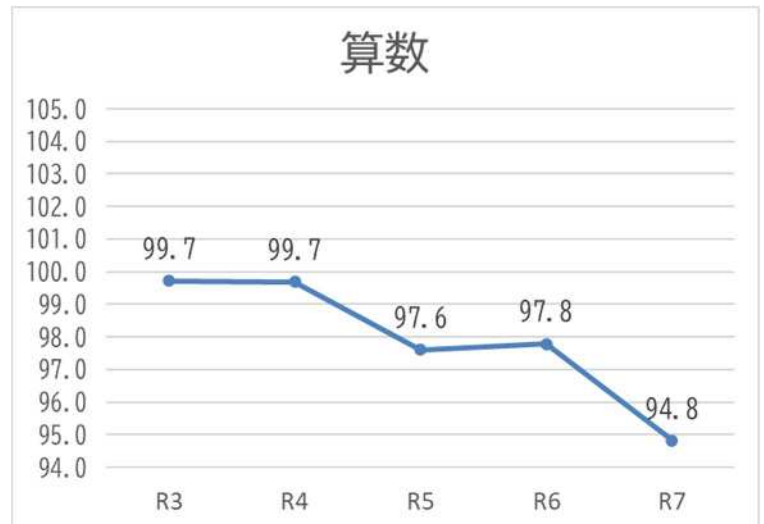
また、領域別においては、特に図形分野の正答率が顕著に低くなっています。

(1) 正答数分布

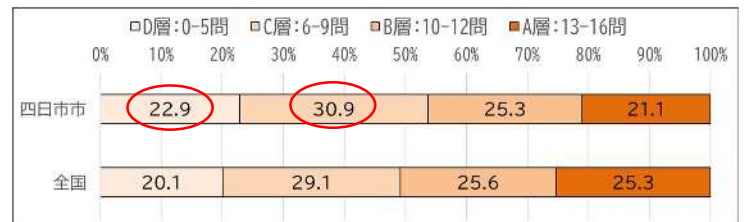


R7	四日市市	全国
平均正答率	55	58.0
中央値	9.0	10.0
標準偏差	4.0	4.0

(2) 全国値を100としたときの本市正答率の推移



(3) 本市の学力層(四分位)の結果



(4) 学習指導要領の領域別正答率推移

全国値:100

領域	R3	R4	R5	R6	R7
数と式	99.4	100.6	97.5	96.4	95.8
図形	93.3	100.8	94.6	98.2	92.2
測定	99.2	—	—	—	92.7
関数	99.5	100.8	98.2	95.2	93.6
データの活用	100.9	100.0	98.9	98.9	96.0



(5) 調査問題の結果から課題が見られた問題

問題	分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる問題。
大問 3 (2)	

正答率	
全国	23.0
四日市市	19.2

全国比－3.8ポイント

(2) ひろとさんたちは、分数のたし算についても、小数で考えたようにふり返っています。

まず、みおりさんは、 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ についてまとめています。



$\frac{2}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の 2 個分、 $\frac{1}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の 1 個分です。
 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ の計算は、 $\frac{1}{5}$ をもとにすると、2 + 1 を使って考えることができます。

$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ は、もとにする数を $\frac{1}{5}$ にすると、整数のたし算を使って計算することができます。

次に、ひろとさんは、 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ について考えています。



$\frac{3}{4}$ は $\frac{1}{4}$ の 3 個分、 $\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{3}$ の 2 個分です。
 もとにする数が $\frac{1}{4}$ と $\frac{1}{3}$ でちがうので、同じ数にしたいです。

$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ についても、もとにする数を同じ数にして考えることができます。

もとにする数を同じ数にするとき、その数は何になりますか。その数を書きましょう。また、 $\frac{3}{4}$ はその数の何個分、 $\frac{2}{3}$ はその数の何個分ですか。数や言葉を使って書きましょう。

(正答の条件)

次の①、②、③の全てを書いている。

① $\frac{3}{4}$ と $\frac{2}{3}$ に共通する単位分数が、 $\frac{1}{12}$ であることを表す数や言葉(分母が12の倍数の単位分数を含む)

② $\frac{3}{4}$ が共通する単位分数の幾つ分かを表す数や言葉

③ $\frac{2}{3}$ が共通する単位分数の幾つ分かを表す数や言葉

【誤答例】

通分について記述しているが、共通する単位分数が $\frac{1}{12}$ であることと、 $\frac{3}{4}$ と $\frac{2}{3}$ がそれぞれ共通する単位分数の幾つ分かは記述できていない。

【通分の意味を理解し活用する】

「通分で計算できること」とともに、「通分で計算が分かること」の理解が重要となります。共通する単位分数に着目し、加数と被加数がそれぞれいくつ分であるかを考えることで、整数での計算が可能となることを説明する学習活動が大切になります。

問題	台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる問題
大問 2 (2)	

正答率	
全国	50.2
四日市市	41.3

全国比－8.9ポイント

(2) わかなさんは、方眼紙に下の 1 から 5 までの四角形をかきました。

下の 1 から 5 までの中で、台形はどれですか。

3つ選んで、その番号を書きましょう。

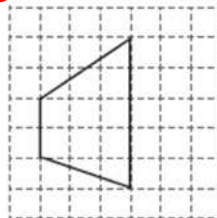
①



2



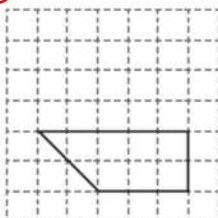
③



4



⑤



【誤答例】

選択肢5のような、上下に向かい合った一組の辺が平行であるが、上の辺の長さが下の辺の長さよりも長く、直角のある四角形を台形ととらえることができず、選べない。

【「形」から「図形」へ概念を理解する】

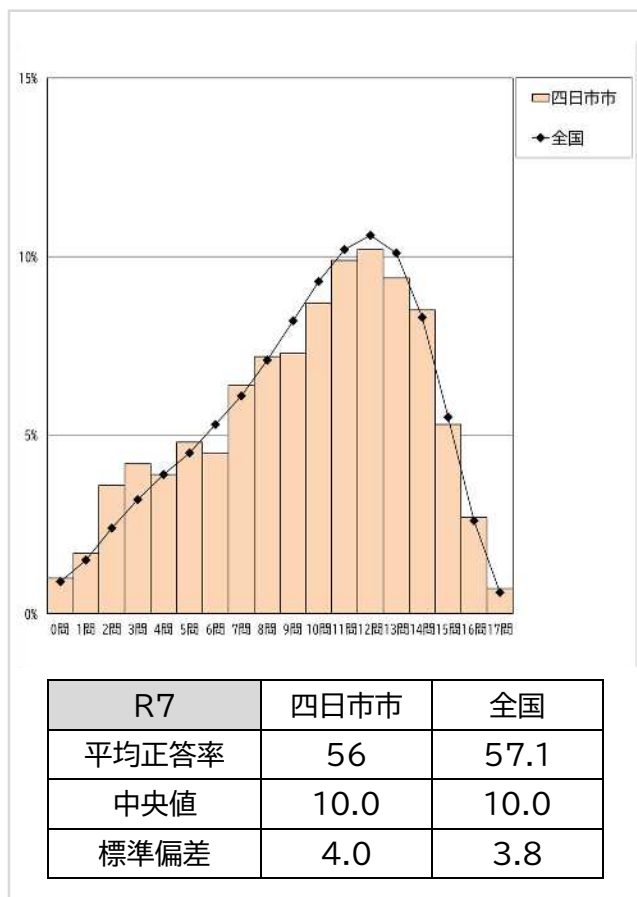
台形の意味や性質を理解しているかを問う問題です。台形というと「1」の形を台形と捉える児童が多いですが、形を暗記するのではなく、台形という図形の意味を理解する必要があります。そのためには、どうしてその形が台形となるのかということを子どもたちが説明する学習活動が大切になります。

2 教科別分析（小学校 理科）

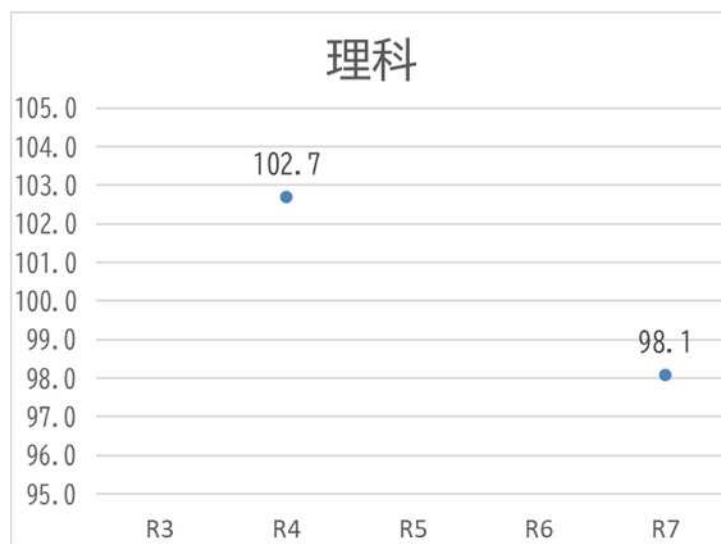


小学校理科の平均正答率は56%で全国を1.1ポイント下回る結果でした。
全国と比べると結果の散らばりがみられ、学力層のD層の割合が高くなっています。
また、領域別においては粒子の正答率が大きく下がっています。

(1) 正答数分布



(2) 全国値を100としたときの本市正答率の推移

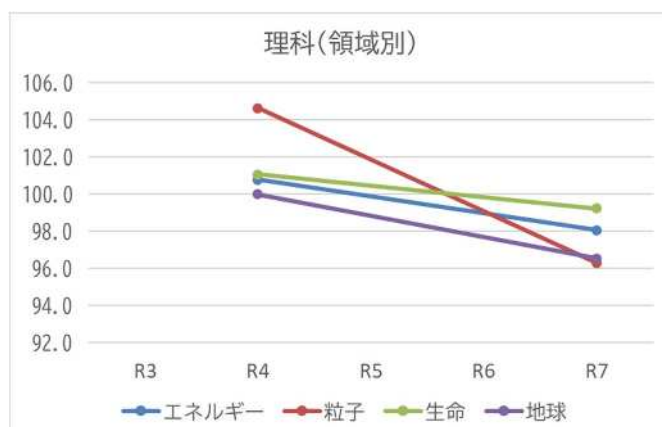


(3) 本市の学力層(四分位)の結果



(4) 学習指導要領の領域別正答率推移

領域	R3	R4	R5	R6	R7
エネルギー	—	100.8	—	—	98.1
粒子	—	104.6	—	—	96.3
生命	—	101.1	—	—	99.2
地球	—	100.0	—	—	96.6



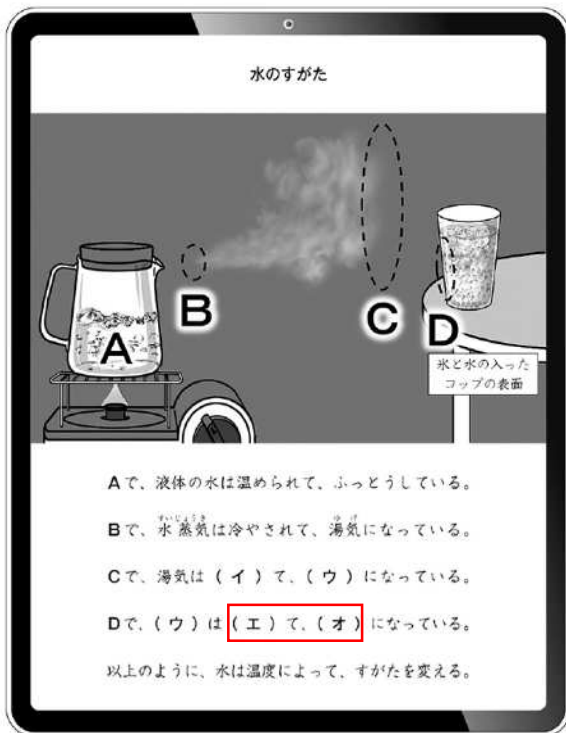
(5) 調査問題の結果から課題が見られた問題

大問 4 (2)	水の結露について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解しているかどうかをみる問題
エ・オ	

正答率	
全国	57.5
四日市市	53.2

全国比-4.3 ポイント

ひろみさんたちは、水のすがたに関する学習をまとめています。



左の図の（イ）から（オ）の中にあてはまるものを、下の 1 から 2 の中からそれぞれ 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

- （イ）
- 1 蒸発し
 - 2 ふっとうし
 - 3 温められ

- （ウ）
- 4 水蒸気
 - 5 液体の水
 - 6 氷

- （エ）
- 7 蒸発し
 - 8 温められ
 - 9 冷やされ

- （オ）
- 10 水蒸気
 - 11 液体の水
 - 12 氷

【誤答例】

水蒸気が氷と水の入ったコップの表面で冷やされることは理解できているが、冷やされた結果、どのように状態変化するかについて答えられない。

【水の状態変化の概念的理解】

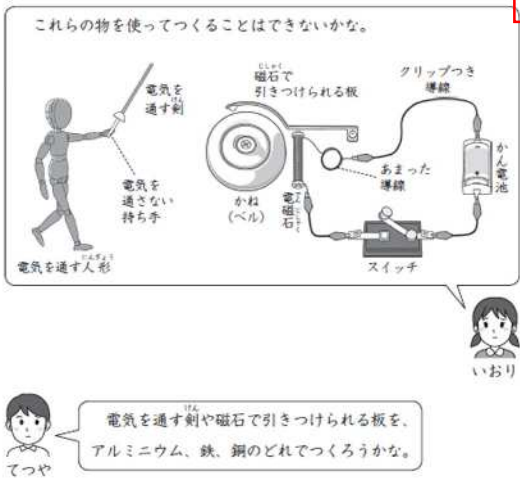
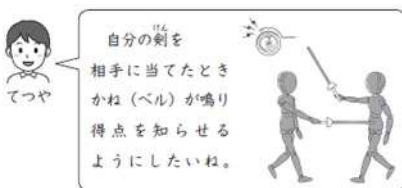
習得した個別の知識を概念的に理解するためには、学習内容を他の学習や生活と関連付けることが大切です。加熱をしなくても水が蒸発する場面を生活の中から探したり、低い温度で水が蒸発する場面と沸騰で蒸発する場面との違いや共通点を整理したりすること、寒い日の窓に結露が生じる原因を考えることなどを通して、水の状態変化について概念的に理解することが必要です。

大問 2 (1)	身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いているかどうかをみる問題
----------	---

正答率	
全国	10.6
四日市市	8.8

全国比-1.8 ポイント

てつやさんといおりさんは、これまでに学習した電気の性質を利用して、フェンシングのおもちゃをつくることができないか、話しています。



(1) アルミニウム、鉄、銅の性質について、下の 1 から 4 までの中からそれぞれ 1 つ選んで、その番号を書きましょう。同じ番号を選んでもかまいません。

- 鉄
- アルミニウム
- 銅
- 1 電気を通し、磁石に引きつけられる。
 - 2 電気を通し、磁石に引きつけられない。
 - 3 電気を通さず、磁石に引きつけられる。
 - 4 電気を通さず、磁石に引きつけられない。

【誤答例】

アルミニウム、鉄、銅のいずれかに、選択肢 3 または 4 と回答している。

【実験等を通じた知識の習得】

図や説明から回路の状況を把握し、アルミニウム・鉄・銅の性質を理解しているかが問われる問題です。

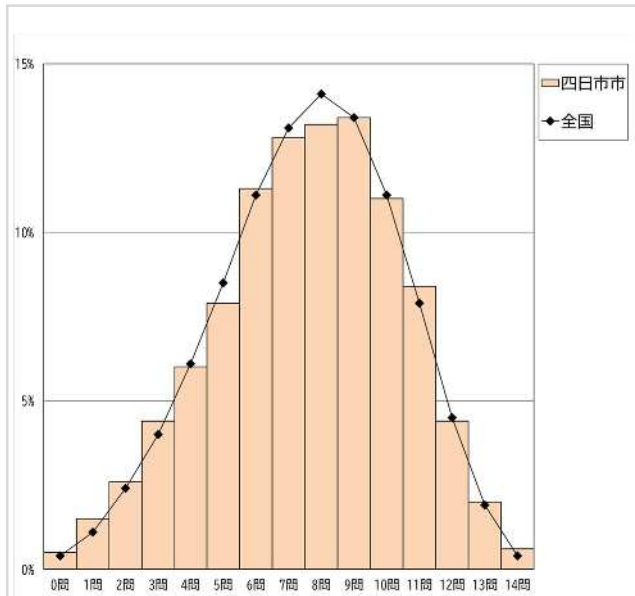
身の回りの金属について、単純に知識として覚えるのではなく、実験などを通じて磁石にひきつけられるか、電気を通すかを思考錯誤する中で、知識として身につけていくことが必要です。

2 教科別分析 (中学校 国語)



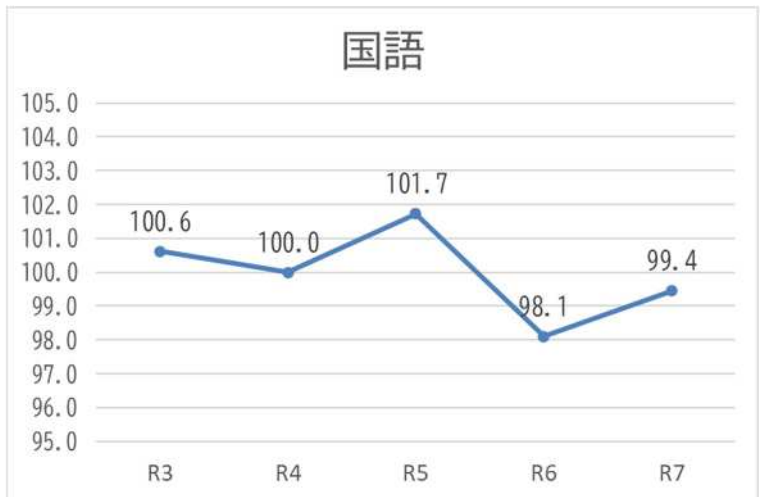
中学校国語の平均正答率は54%で全国と同等の結果でした。
標準偏差が全国と比べると0.1高いことから、やや結果の散らばりがみられました。学力層についてもA層、D層の割合がやや高く、学力層の2極化傾向が見られます。
領域別においてはすべての正答率が上がっています。

(1) 正答数分布

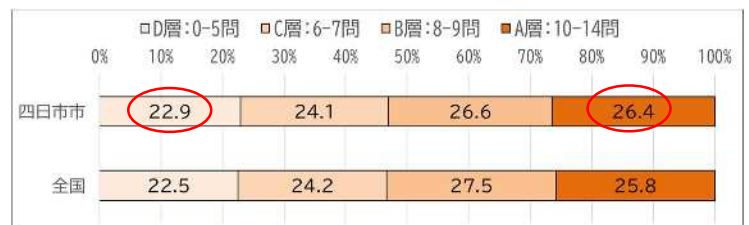


R7	四日市市	全国
平均正答率	54	54.3
中央値	8.0	8.0
標準偏差	2.8	2.7

(2) 全国値を100としたときの本市正答率の推移



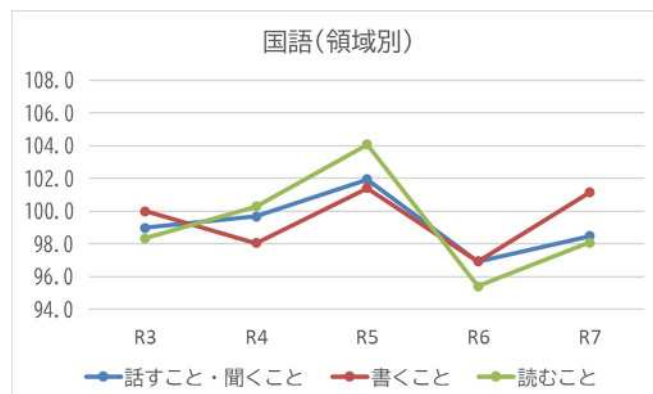
(3) 本市の学力層(四分位)の結果



(4) 学習指導要領の領域別正答率推移

領域	R3	R4	R5	R6	R7
話すこと・聞くこと	99.0	99.7	101.9	96.9	98.5
書くこと	100.0	98.1	101.4	96.9	101.1
読むこと	98.4	100.3	104.1	95.4	98.1

全国値: 100



(5) 調査問題の結果から課題が見られた問題

問題	文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えること
大問 3 四	ができるかどうかをみる問題

正答率	
全国	17.1
四日市市	16.7

全国比-0.4ポイント

【設答例】

文章の展開の効果について書くことはできているが、理由を書く際、物語の内容を取り上げているものの、本問で着目している展開を踏まえて書くことができていない。

【表現の効果・意見と根拠】

表現の効果については、表現が、文章の内容を伝えたり印象付けたりする上で、どのように働いているかを考えることが重要です。その際、自分の考えを支える根拠となる段落や部分を挙げるなどして、根拠を明確にすることが大切になります。

⑦意見と根拠

問題	資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わる
大問 2－	ように表現を工夫することができるかどうかをみる問題

正答率	
全国	38.1
四日市市	36.7

全国比-1.4ポイント

- 2 村田さんは、国語の時間に、学校の活動を地域に広げるアイデアについてスピーチをする学習に取り組んでいます。村田さんは、青木さんとあなたにスピーチのリハーサルを見てもらい、助言を求めています。次の【村田さんのスピーチ】と、〈スライド①〉から〈スライド⑤〉までを読んで、あとの問いに答えなさい。

【村田さんのスピーチ】

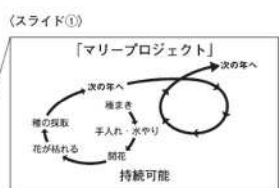
私は、「マリープロジェクト」をもとにしたアイデアを考えました。
「マリープロジェクト」は、皆さんも知っているとおり、環境委員会
が参加者を募って行っている、マリーゴードルを育てる活動です。参加
したことがない人も、登壇のとき、きれいに咲いたマリーゴードルの
花に、心が癒んだこともあるのではないのでしょうか。マリーゴードルは、
苗から育てることが多いのですが、この活動では、採取した種から育て

ここで、〈スライド①〉を提示

スライドに示したように、次の年、また次の年へとつながる、特約的な活動であることが、この活動の大きな特徴です。咲いた花を楽しむだけでなく、手入れをしながら成長を見守ることに魅力を感じ、私は、1年生のときからこの活動に参加しています。

ここで、〈スライド②〉を提示

これは、実際に採取したマリーゴールドの種です。次のシーズンに学校で育てる分を確保したあと、家でも育てたい参加者は種をもらって帰ります。私も、種をもらって、家族と一緒に育てています。ただ、



話の補足内容
を入れている

【誤答例】

解答 1 の選択

村田さんのスピーチの内容を要約したものがスライド①に示されていると誤って捉えてしまった。また、村田さんが、意見とそれを支える根拠が聞き手の印象に残るように話していると誤って捉えてしまった。

【表現の工夫】

相手に伝えたい内容を適切に伝えるためには、目的や状況、相手に応じて、話す内容を考え、聞き手の理解をより深められるようにすることが大切です。どのような資料や機器を、どのように用いればより相手に伝わるか、話し方を工夫する力をつけることが必要になります。（読解力を育む「20の観点」⑫表現の効果）

- 一 村田さんは、【村田さんのスピーチ】の——線部ア「スライドに示したように、次の年、また次の年へとつながる、持続的な活動であることが、この活動の大きな特徴です。」のように、スライドを使って話しています。このときの村田さんの話し方を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から1つ選びなさい。

- ① 聞き手の印象に残るように、スライドで意見だけを要約して示しながら、意見とそれを支える根拠を話している。
- ② 聞き手によって経験が違うことを考慮して、スライドで補足の情報を示しながら、話の要点を絞って話している。
- ③ 聞き手が興味をもつように、スライドで異なる視点からの情報を示しながら、自分の主張を繰り返し話している。
- ④ 聞き手からの質問を想定して、スライドで質問に対する回答を示しながら、自分の立場と考えを話している。

2 教科別分析（中学校 数学）

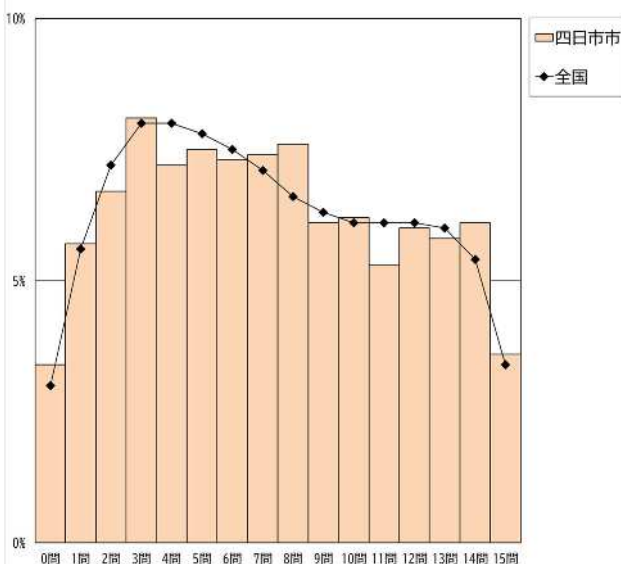


中学校数学の平均正答率は49%で全国を上回る結果でした。

学力層については全国とほぼ同等になっています。

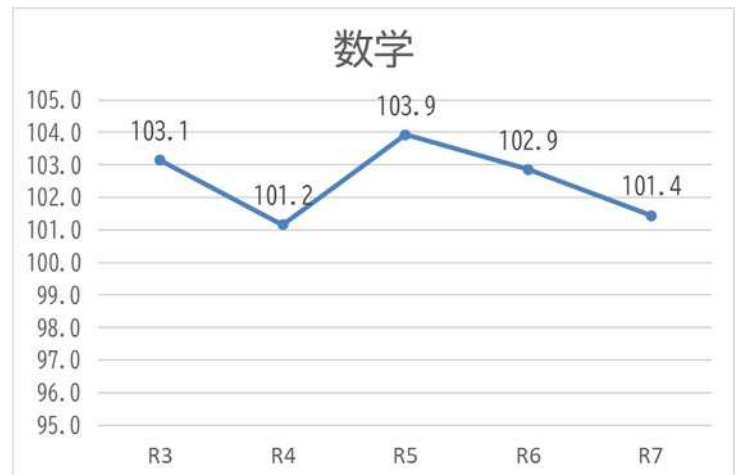
領域別においては数と式、データの活用の正答率が下がり、図形と関数の正答率が上がりました。

(1) 正答数分布



R7	四日市市	全国
平均正答率	49	48.3
中央値	7.0	7.0
標準偏差	4.3	4.2

(2) 全国値を100としたときの本市正答率の推移



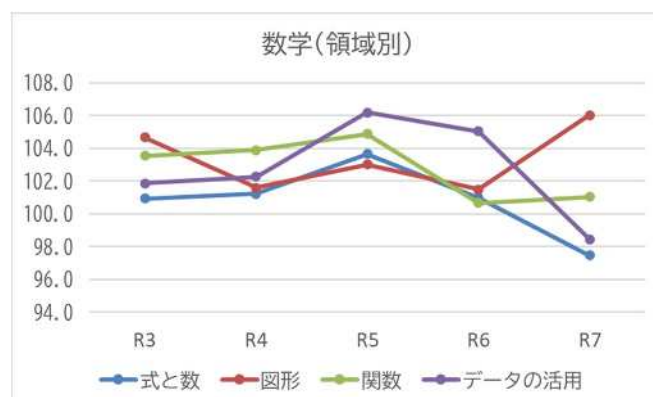
(3) 本市の学力層(四分位)の結果



(4) 学習指導要領の領域別正答率推移

全国値: 100

領域	R3	R4	R5	R6	R7
数と式	100.9	101.2	103.7	101.0	97.5
図形	104.7	101.6	103.0	101.5	106.0
関数	103.5	103.9	104.9	100.7	101.0
データの活用	101.9	102.3	106.2	105.0	98.5



(5) 調査問題の結果から課題が見られた問題

問題	相対度数の意味を理解しているかどうかをみる問題
大問 5	

正答率	
全国	42.5
四日市市	39.7

全国比－2.8 ポイント

- 5 下の表は、ある学級の生徒 40 人のハンドボール投げの記録をまとめた度数分布表です。

ハンドボール投げの記録

階級 (m)	度数 (人)
以上 未満	
5 ～ 10	3
10 ～ 15	8
15 ～ 20	9
20 ～ 25	10
25 ～ 30	6
30 ～ 35	3
35 ～ 40	1
合計	40

【誤答例】

「10」と解答する生徒がおり、階級の相対度数と階級の度数を混同している。

【「相対度数」等の用語の意味と必要性の理解】
データを考察するときには、度数分布表やヒストグラムなどを用いて、データの特徴や分布の傾向を読み取ります。

相対度数については、単純に用語として覚えるのではなく、「異なる資料の比較ができること」や「資料の全体像を把握しやすいこと」など、その必要性和意味を理解しながら学習することが大切です。

20 m 以上 25 m 未満の階級の相対度数を求めなさい。

力をつけることが 必要な問題	素数の意味を理解しているかどうかをみる問題
大問 1	

正答率	
全国	31.8
四日市市	27.3

全国比－4.5 ポイント

- 1 下の 1 から 9 までの数の中から素数をすべて選び、選んだ数のマーク欄を黒く塗りつぶしなさい。

1 (2) (3) 4 (5) 6 (7) 8 9

【誤答例】

「1」を選択する生徒が全体の 5.2% 程度おり、「1」は素数に含まれると捉えている。

【具体的な活用場面を通じた知識の習得】

素数について理解することは、算数で学んだ「約数」、「倍数」などの整数の性質を捉え直す際や、数学での「平方根」などの学習場面に必要です。

「1 より大きい自然数の中で 1 とその数以外に約数をもたないもの」が素数であることを、具体的な数を用いながら理解することが必要です。

2 教科別分析（中学校 理科）



本年度の中学校理科は IRT 方式で調査をしています。

IRT とは国際的な学力調査（PISA、TIMSS など）や英語資格・検定試験（TOEIC・TOEFL など）で採用されているテスト理論です。この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較できます。

調査は、公開問題（10問）と非公開問題（16問）を組み合わせで出題され、実施日等により異なる問題が出題されます。

公 開 問 題		非 公 開 問 題
全日程に共通する問題 6 問	実施日により異なる問題 4 問	16 問

中学校理科の平均 IRT スコアは500となっており、基準的な数値となっていますが、全国と比較すると低くなっています。

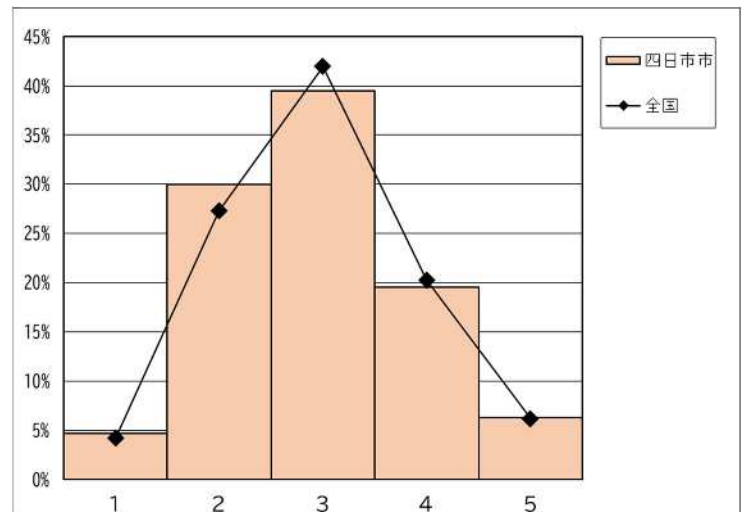
IRT スコア分布グラフ及び IRT バンド分布比較を見ると、全国と比較してスコア2の割合が高いです。

(1)IRT スコア

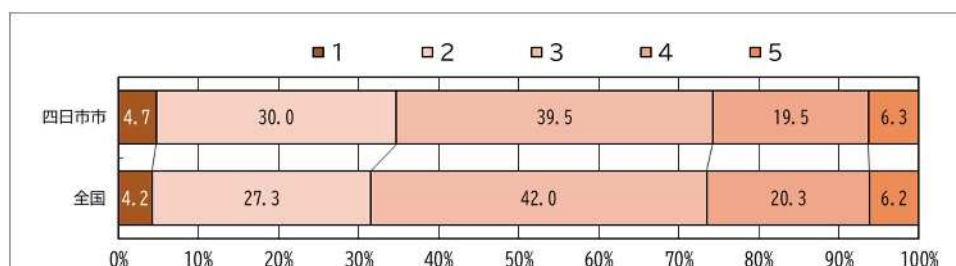
R7	四日市市	全国
平均 IRT スコア	500	503
標準偏差	130.9	124.0

※ IRT に基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500 を基準にした得点に表すものです。

(2)IRT スコア分布グラフ(横軸:IRT バンド 縦軸:割合)



(3)IRT バンド分布比較



※「IRT バンド」とは IRT スコアを1～5段階に区切ったものです。3を基準のバンドとし、5が最も高いバンドとなります。

(4) 調査問題の結果から課題が見られた問題(全日程に共通する問題より)

大問 1 (2)	身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を解決するための課題を設定できるかどうかをみる問題
----------	---

正答率	
全国	46.2
四日市市	40.9

1

理科の実験で使用する水は精製水について考える

理科の実験で使用する水は精製水です。精製水について、調べたことを発表しましょう。

精製水は、水道水を蒸留したり、ろ過したりすることによってつくった水です。

精製水は、右図のように水道水に電熱線を入れて水を加熱し、蒸留する方法でつくられることが多いです。

電気エネルギーを利用して水を加熱しているんですね。水は温まりにくいから、効率よく温める工夫が必要ですね。

より早く水を温めるには、電熱線がどのようにつながっているか、右の装置を考えてみましょう。

同じ電圧を加えたとき、回路全体の抵抗がどうかを考えれば分かりそうです。

装置 1

装置 2

10Ωの電熱線
50Ωの電熱線

課題を設定する

全国比-5.3ポイント

【Aさんの疑問】
理科の実験では、なぜ水道水ではなく精製水を使うのかな？

【Aさんの疑問】
蒸留したり、ろ過したりして水を浄化する方法は、どのような方法でつくられることが多いですか？

課題は、
にしようと思います。

(2)
【Aさんの疑問】を解決するために、
に適切な課題を設定してください。

課題

【自ら課題を設定する】

ここでは、見いだした問題を解決するための課題を設定する力が問われています。この力をつけるためには、生徒が課題を設定し、探究したことをまとめ、振り返る学習を行うことが大切です。その際に、これまで学習した知識を活用し、身近な自然の事物・現象について多面的、総合的に捉え、思考することが必要になります。

大問 1 (3)	露頭のどの位置から水が染み出るかを観察する場面において、小学校で学習した知識を基に、地層に関する知識及び技能を関連付けて、地層を構成する粒の大きさとすき間の大きさに着目して分析して解釈できるかどうかをみる問題
----------	--

正答率	
全国	36.2
四日市市	34.9

全国比-1.3ポイント

水漏れの原因を調べる

水道水はどのような水を利用していますか？

水道水は河川の水、雨水などがろ過されてしみ出した水を利用しています。

雨水などが地層を通過してしみ出した水を利用しています。

この地層に雨水がしみ出ているところがあります。調べに行きましょう。

地層の断面から水がしみ出ているか？

地層の性質と関係があるのかな。それぞれの地層を観察してみよう。

この地層の断面と雨水のしみ出しの位置を比較してみよう。

(3)
下図の雨水がしみ出る位置として最も適切なものを、図の1から4の中から1つ選びなさい。

① 最大100文字で答えます

【地層の断面から雨水のしみ出ている箇所】

地層 1

地層 2

地層 3

地層 4

誤答

正答

誤答

【誤答例】

- ・「水が通り抜ける」とあるため地層1を通りぬけて水が染み出ると考えてしまっている。
- ・「すき間が観察されなかった地層3における粒の大きさと水の染み込み方を正しく解釈することと、地層3の観察結果と水が染み出す位置を適切に関連付けて捉えることができていない。

【学習した知識を関連付ける】

本問では、小学校で学習した知識を基に、地層に関する知識及び技能を関連付けて、地層を構成する粒の大きさとすき間の大きさに着目して分析して解釈することが大切になります。単に知識として覚えるだけでなく、実験を通して見いだした事実と実際の地層とを関係付けて解釈したり、実験を通して分かったことなどを知識と関連付けて説明したりするなどの学習活動が大切です。

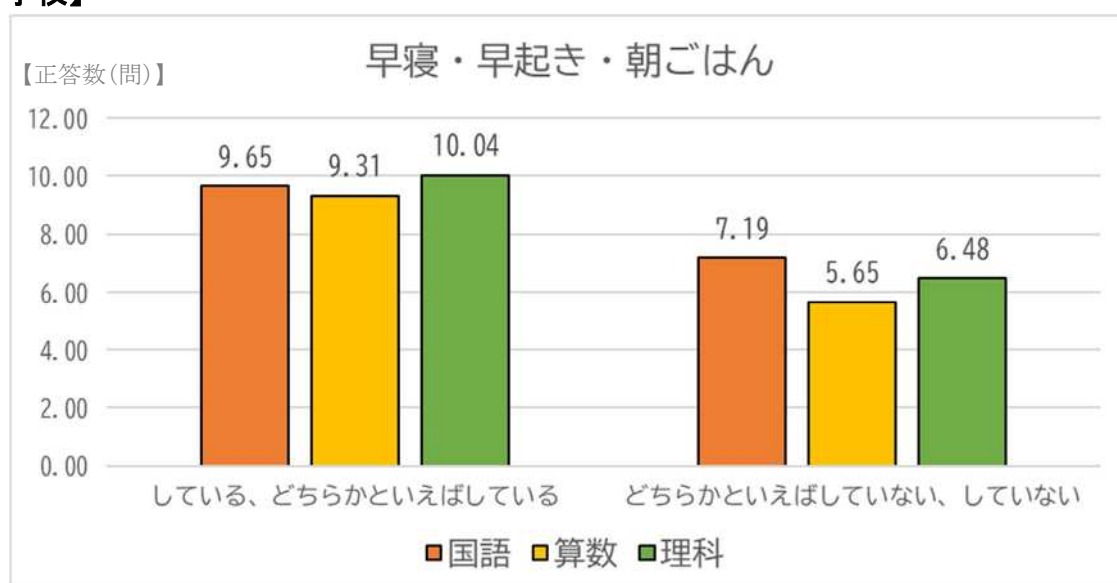
3 四日市市の児童生徒質問紙調査の結果より

(1) 生活習慣・学習習慣

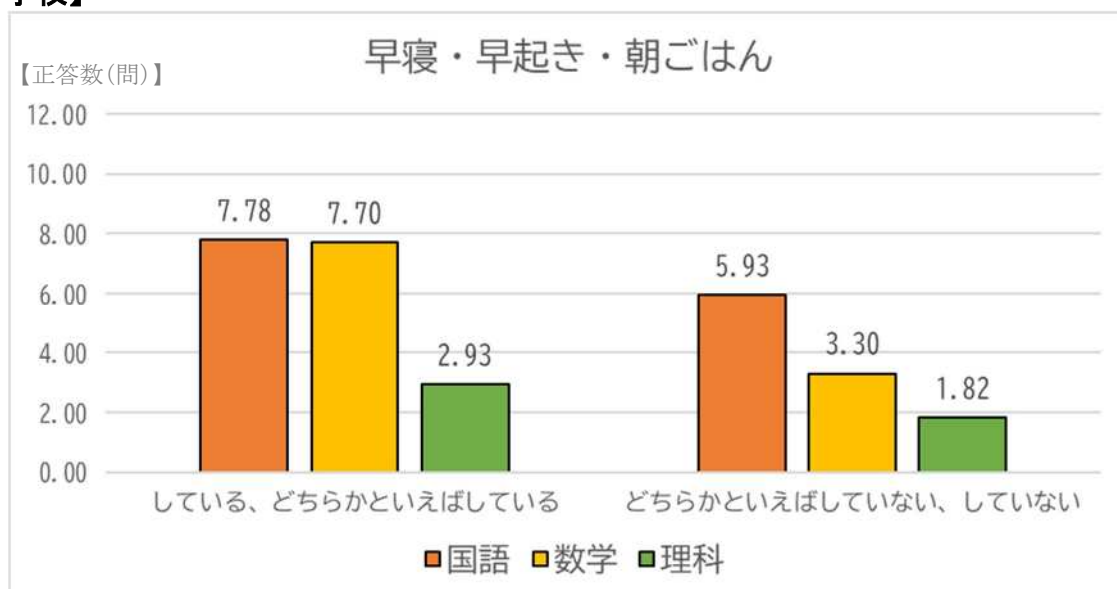
早寝・早起き・朝ごはんの3点セットは学力向上にもつながっていることが分かったよ。



【小学校】



【中学校】



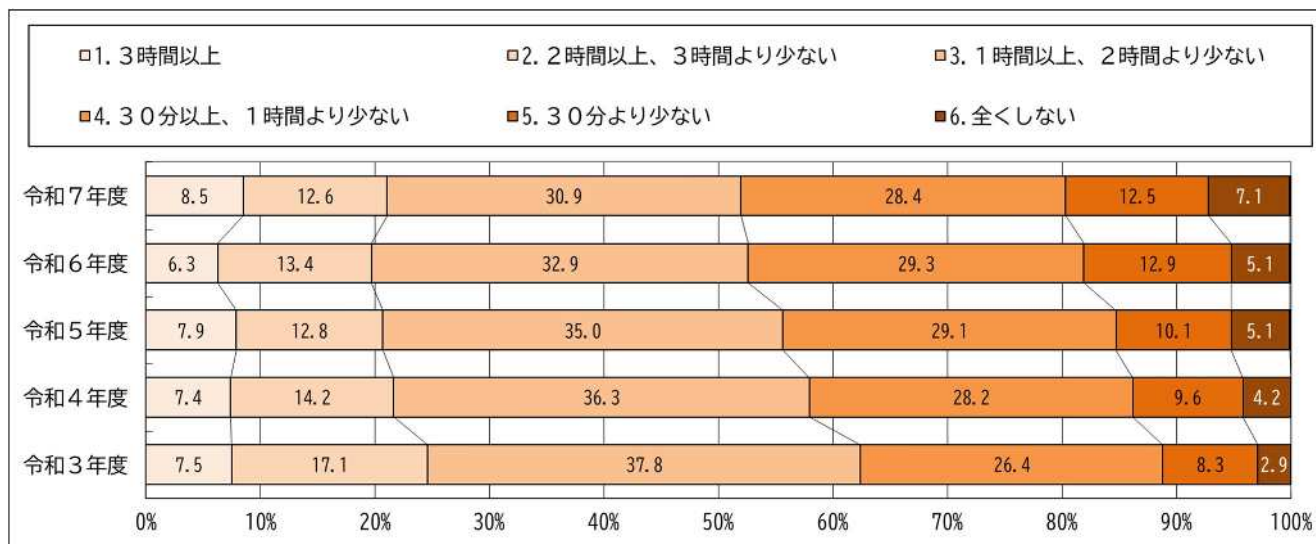
「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の質問に対し、「すべて肯定的回答」「すべて否定的回答」している児童生徒の各教科の平均正答数を算出しました。その結果、早寝・早起き・朝ごはんを行っている児童生徒の国語・算数・理科の正答率は約1.3倍以上高い傾向が見られました。



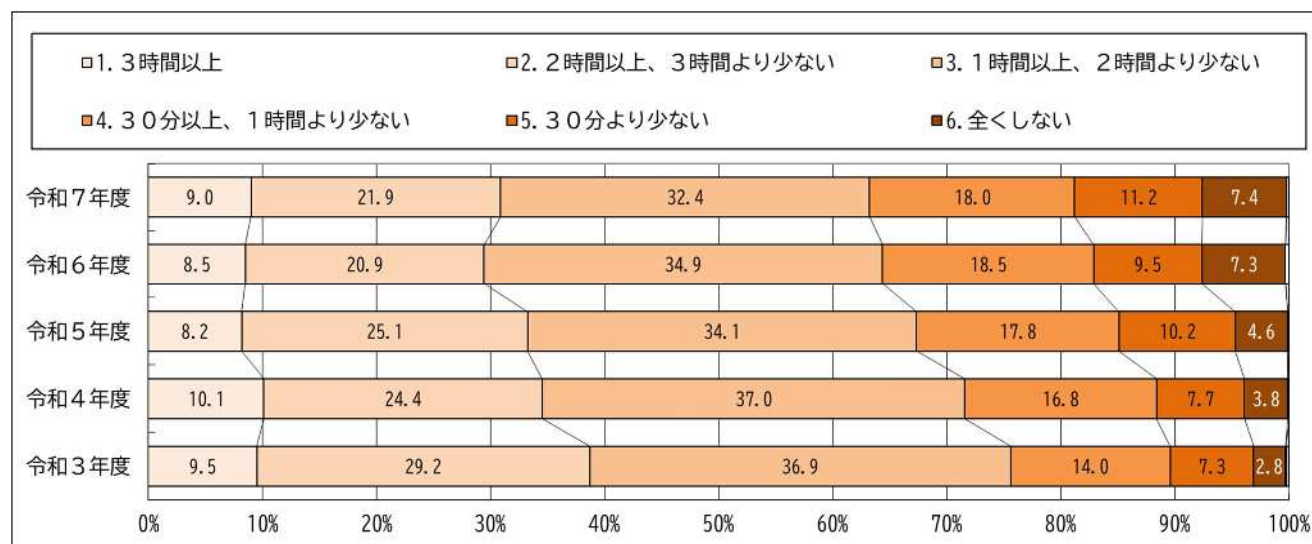
授業以外にも、自分で勉強を進められるようになることが大切だね。



【小学校】



【中学校】



「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」の質問に対する回答の推移をみると、年々、授業以外の学習時間が減っています。

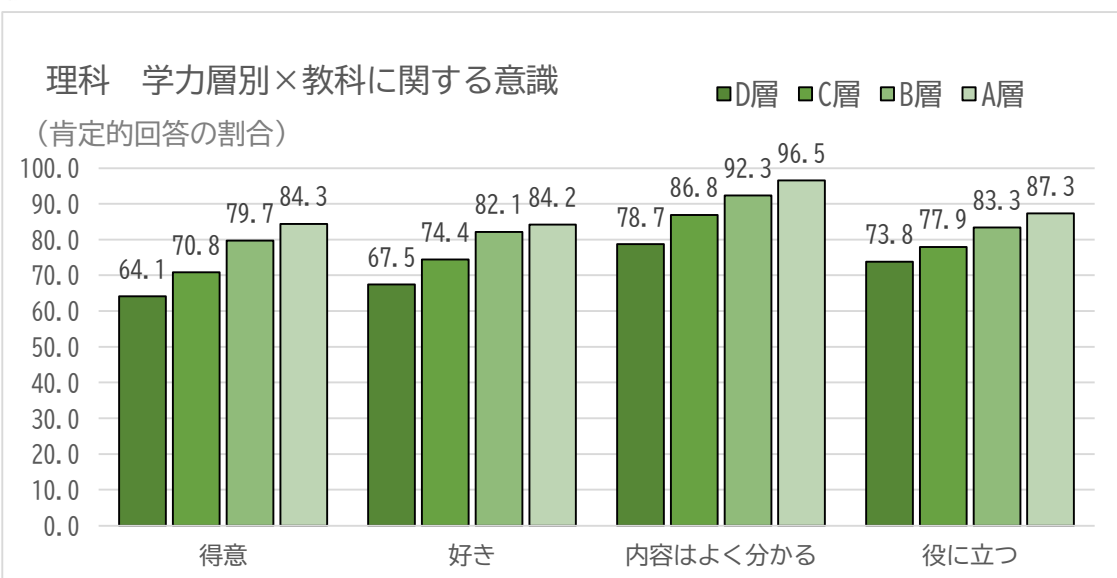
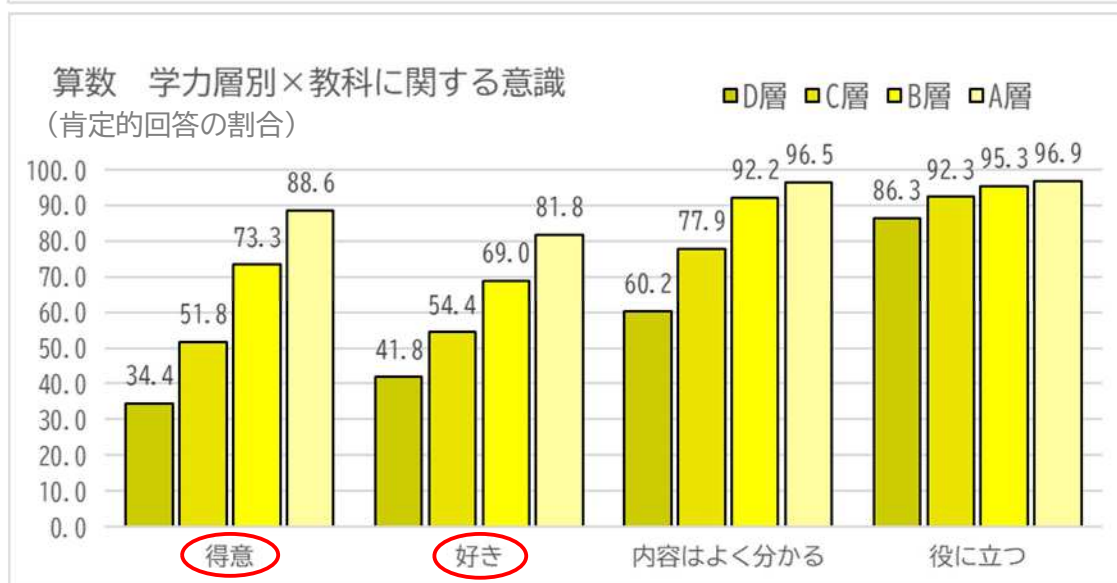
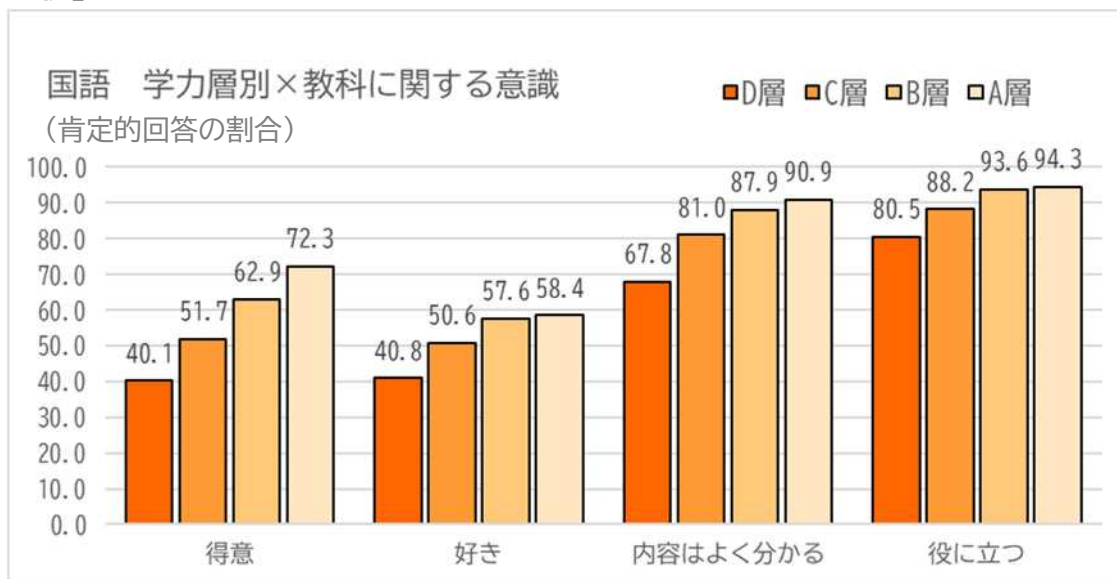


(2) 学力層と教科に関する意識の関係

教科の「得意」・「好き」と学力は関連しているね。



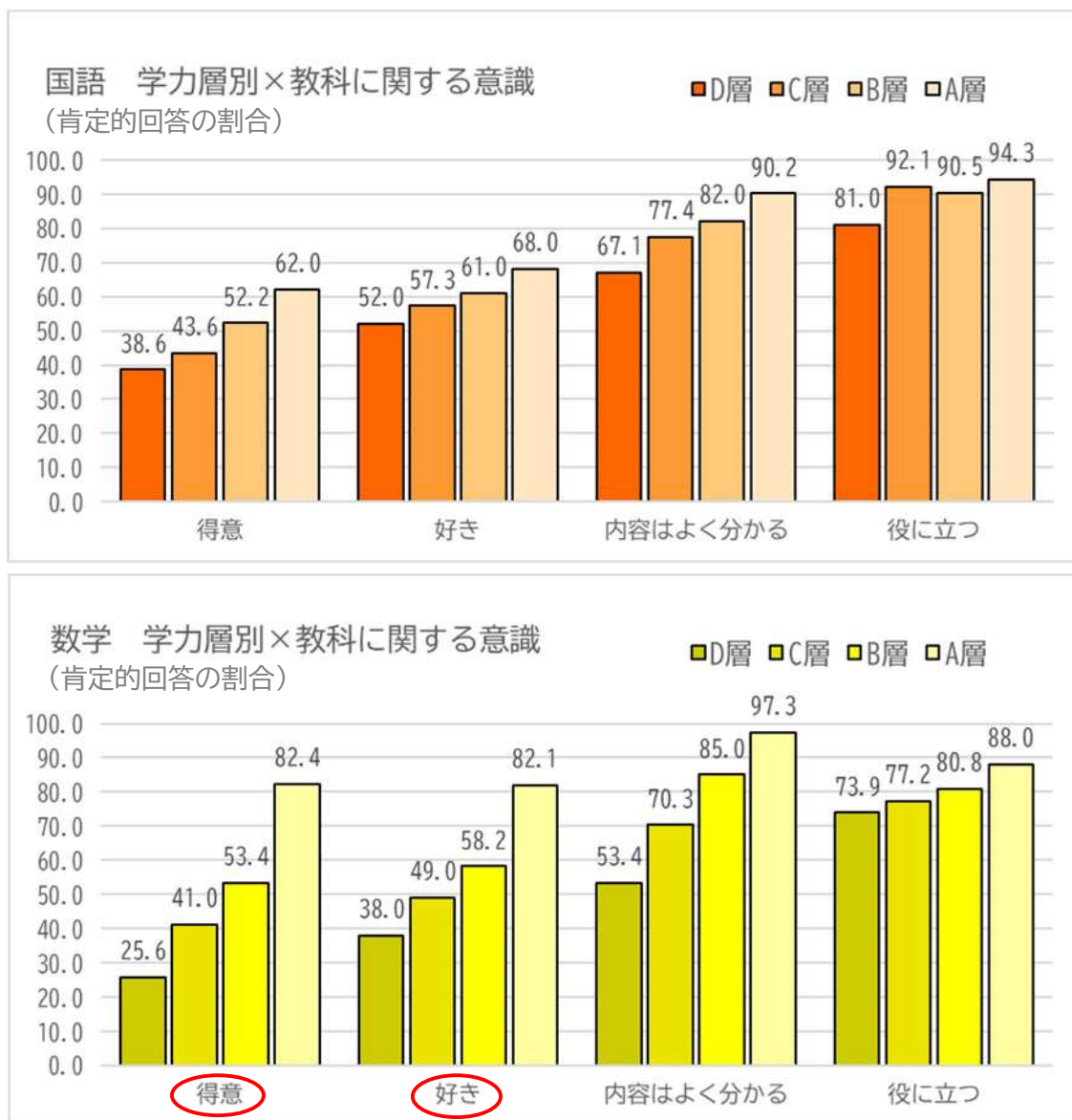
【小学校】



それぞれの教科が「得意」・「好き」になるためには、それぞれの教科を学ぶ楽しさを見つけられるといいね。



【中学校】



教科とそれに関連する質問項目を学力層（A～D層）ごとに比較しています。特に算数・数学のA層とD層を比較すると、「得意」「好き」と回答している児童生徒の差が大きくなっています。

すべての教科において、「役に立つ」の質問項目でA層とD層の差が小さい結果となりました。



(3) ICT の活用状況

みんなの ICT 活用頻度は、どんどん増えているよ。



○授業の中で、1週間に3日以上PC・タブレットなどのICT機器を使用している児童生徒の割合。

【小学校】	R6	R7	経年比較
四日市市	58.3	78.5	+20.2
全国	59.5	71.7	+12.2
全国との比較	-1.2	+6.8	

【中学校】	R6	R7	経年比較
四日市市	75.9	83.4	+7.5
全国	64.4	76.5	+12.1
全国との比較	+11.5	+6.9	

基本的なICTスキルは身につけてきているね。それを使って、相手にわかりやすく伝えることができるようになりたいね。



○ICT活用に係る質問に対して肯定的に回答した児童生徒の割合。赤：全国値より低い 青：全国値より高い

【小学校】	R6	R7
①文章を作成することができる	—	83.0 (81.8)
②インターネットで情報収集することができる	—	89.9 (89.8)
③図・表・グラフ、思考ツールなどで情報を整理することができる	—	72.4 (69.3)
④プレゼンテーションを作成することができる	—	76.0 (76.7)
⑤自分のペースで理解ながら学習を進めることができる	84.5 (85.5)	79.9 (81.3)
⑥分からないことがあった時に、すぐ調べることができる	91.8 (92.1)	89.1 (89.2)
⑦楽しみながら学習を進めることができる	83.4 (86.0)	83.0 (85.5)
⑧画像や動画、音声等により学習内容がよく分かる	89.4 (89.8)	87.9 (88.1)
⑨自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる	76.7 (79.2)	77.5 (77.6)
⑩友だちと考えを共有したり、比べたりしやすくなる	87.0 (86.1)	85.1 (84.6)
⑪友だちと協力しながら学習を進めることができる	88.5 (87.1)	87.9 (87.5)

【中学校】	R6	R7
①文章を作成することができる	—	84.9 (83.6)
②インターネットで情報収集することができる	—	91.6 (91.5)
③図・表・グラフ、思考ツールなどで情報を整理することができる	—	64.0 (63.3)
④プレゼンテーションを作成することができる	—	74.0 (76.6)
⑤自分のペースで理解ながら学習を進めることができる	82.6 (80.2)	78.3 (78.1)
⑥分からないことがあった時に、すぐ調べることができる	94.9 (93.9)	94.3 (93.1)
⑦楽しみながら学習を進めることができる	81.6 (82.4)	83.7 (85.5)
⑧画像や動画、音声等により学習内容がよく分かる	89.2 (89.0)	89.8 (89.0)
⑨自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる	80.1 (77.7)	82.9 (80.3)
⑩友だちと考えを共有したり、比べたりしやすくなる	87.2 (86.2)	86.0 (84.8)
⑪友だちと協力しながら学習を進めることができる	86.6 (85.2)	86.7 (85.4)

※R7 中学校⑤～⑪については、悉皆式ではなくランダム式による抽出での回答となるため参考値。

授業の中でのICT活用頻度は、令和6年度と比較すると、小中学校ともに上がっています。また、こどもたちのICTスキルについては、全国と比較すると中学校においておおむね高くなっています。今後も、個別最適な学びにつながるICTの効果的な活用を進めていく必要があります。

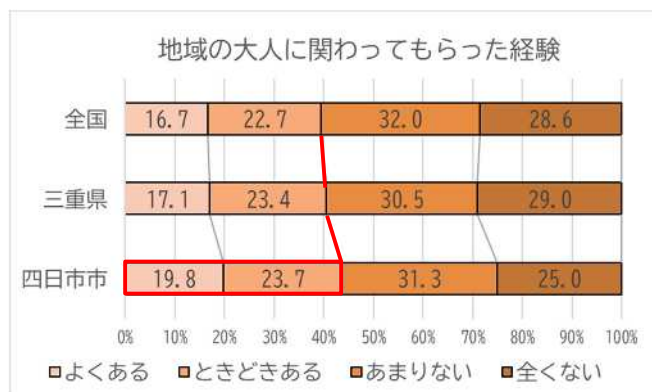


(4) 地域との関わり

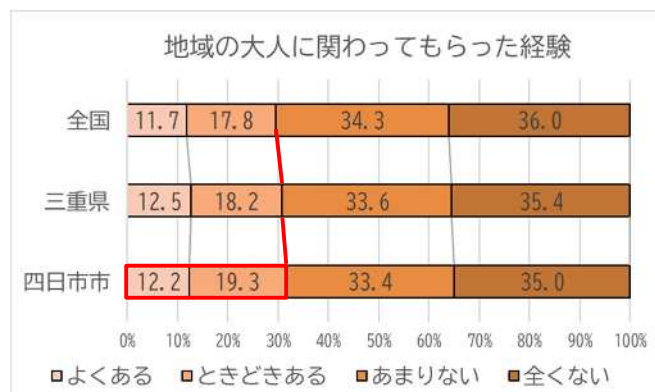
地域の大人に授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでももらったりすると、子どもたちは地域や社会に貢献してみたいと思うんだね。



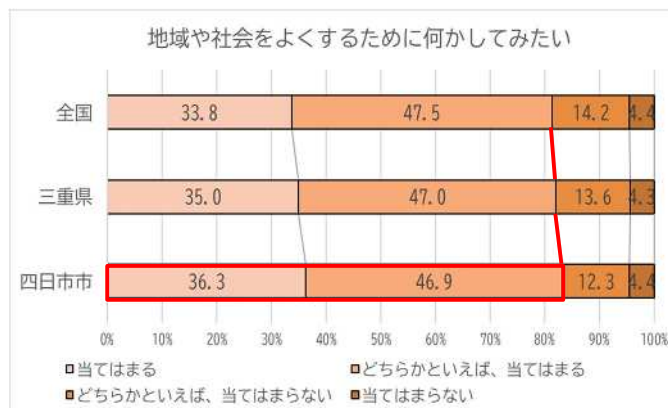
【小学校】



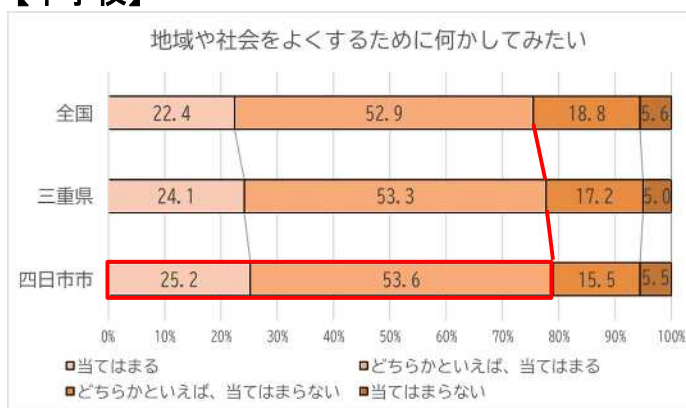
【中学校】



【小学校】



【中学校】



「地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでももらったりすることがありますか（習い事は除く）」の質問において、四日市市の子どもたちは全国や三重県に比べて肯定的な回答をする割合が高いです。

また、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の質問に対しても、四日市市の児童生徒は全国や三重県と比べて肯定的に回答しており、地域社会に貢献したいという思いにつながっています。



(5) 児童生徒のウェルビーイング

ウェルビーイングとは

- ◆ 身体的・精神的・社会的に良い状態にあることを言い、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。
- ◆ 多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、個人や取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態であることも含む包括的な概念。

子どもたちの安心できる環境を作ることが、ウェルビーイングにつながるよ。



赤：全国値より低い
青：全国値より高い

質問項目(主観的幸福感)	小学校	中学校
(15) 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。	小：92.6 (全国：93.0)	中：92.6 (全国：91.6)
(12) 学校に行くのは楽しいと思う	小：84.7 (全国：86.5)	中：89.4 (全国：86.1)

質問項目	小学校	中学校
(14) 友だち関係に満足している	小：91.5 (全国：91.7)	中：93.0 (全国：91.4)
(05) 自分には、よいところがあると思う	小：83.8 (全国：86.9)	中：87.8 (全国：86.2)
(06) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う	小：92.3 (全国：92.2)	中：94.3 (全国：92.2)
(38) 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う	小：88.6 (全国：87.4)	中：85.0 (全国：83.8)
(10) 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる	小：68.9 (全国：70.6)	中：74.5 (全国：73.2)

児童生徒質問紙調査の結果から、四日市市の先生は丁寧に子どもたちに関わっていることがわかります。

多様な子どもたちに対して、状況に応じた対応をすることで、安心できる環境づくりを進めることができます。



(6) 自己肯定感に関わる意識

家庭や地域と協力し、就学前～学校教育を通して、子どもたちの自己肯定感を高めていくことが、子どもたちのよりよい成長につながるね。



赤：全国値より低い
青：全国値より高い

自己受容

質問項目	小学校	中学校
自分には、よいところがあると思う	小：83.8 (全国：86.9)	中：87.8 (全国：86.2)

自己有用

質問	小学校	中学校
人の役に立つ人間になりたいと思う	小：96.7 (全国：96.4)	中：96.3 (全国：96.6)
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	小：83.2 (全国：81.3)	中：78.8 (全国：75.3)

自己効力

質問	小学校	中学校
分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている	小：82.8 (全国：81.7)	中：82.5 (全国：77.5)
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている	小：84.3 (全国：84.9)	中：86.4 (全国：84.7)
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている	小：78.6 (全国：79.4)	中：77.4 (全国：73.4)

他者信頼

質問項目	小学校	中学校
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる	小：68.9 (全国：70.6)	中：74.5 (全国：73.2)
先生は、あなたのよいところを認めてくれると思う	小：92.3 (全国：92.2)	中：94.3 (全国：92.2)
友達関係に満足している	小：91.5 (全国：91.7)	中：93.0 (全国：91.4)

他者肯定

質問項目	小学校	中学校
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う	小：88.6 (全国：87.4)	中：85.0 (全国：83.8)
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる	小：91.7 (全国：91.9)	中：91.4 (全国：91.9)

自己肯定感を支えるため、四日市市では、「四日市市で育む3つの非認知能力（自分と向き合う力・自分を高める力・他者とつながる力）」を育成していく取り組みを進めています。



次ページからは、令和7年度全国学力・
学習状況調査問題を活用した授業づくり
について紹介します。



「全国学力・学習状況調査」を活用した授業づくり

「全国学力・学習状況調査」は、子どもたちが問題を解くだけでなく、出題された問題を教師が分析し、授業の改善・充実を図ることで、子どもたちにとって必要な力を育むことができます。

本年度も、調査問題の出題の趣旨等から授業改善を図ることができるよう、活用のための視点を示した、『全国学力・学習状況調査』を活用した授業づくりを作成しました。

調査の対象となる学年(小6・中3)だけでなく、他の学年での授業づくりについても紹介していますので、学校全体で組織的・継続的に授業改善等に取り組んでください。



☆学力戦隊☆

マナブンジャー

～ 調査問題を活用した授業づくり～

出題の趣旨
⇓
求められる資質・能力

⇓

《授業づくりのPOINT》

「☆学力戦隊☆マナブンジャー」は学力向上のヒーローが「令和7年度全国学力・学習状況調査」の問題を教科ごとに分析し、これからの授業づくりのポイントについて示しています。

各教科の「授業づくりの資料」を参考に、他の問題も分析し、今後の授業改善・充実に活用してください。







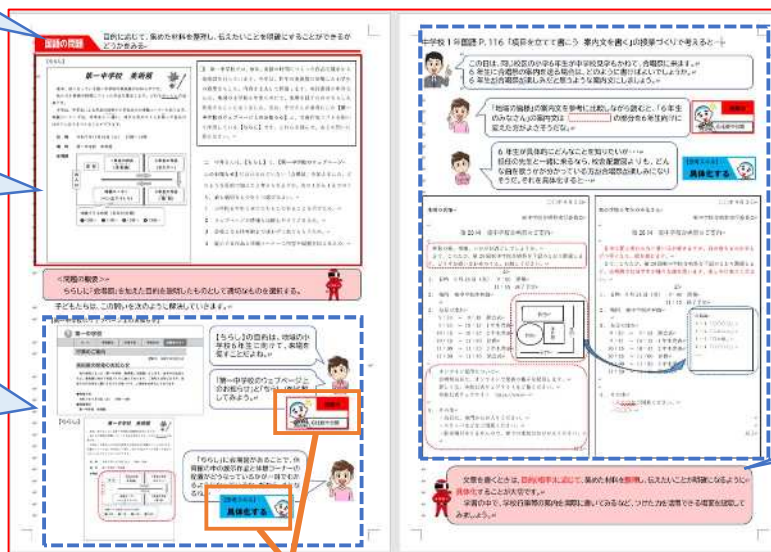

小理パープル
小算ブルー
小国イエロー
中国レッド
中数グリーン
中理ブラック

【「授業づくりの資料」の構成は以下のようになっています】

調査問題の趣旨

ピックアップした
調査問題問題を解く時の
子どもの思考

問題を解く力を子どもにつけるための授業例
(現行の教科書の教材からピックアップしています)

授業づくりの
ポイント

読解力については、学校・園データベース上にある「読解力を育む 20 の観点【小学校版】」、「読解力を育む 20 の観点【中学校版】」、思考スキルについては、19 ある「思考スキル」から、子どもたちが問題を解く時に使っているものをピックアップしています。

国語の問題

国語 1 バスの運転士にインタビューをする

- 二 【話し合いの記録】の書き表し方を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。
- 1 質問する内容を丸で囲み、質問しない内容に線を引いて区別している。
- 2 質問する内容を四角で囲み、線でつなぐことでインタビューの流れを整理している。
- 3 質問する内容を短い言葉で書き、線でつなぐことで質問を一つにしばっている。
- 4 質問する内容をできるだけ詳しく書き、多くの質問ができるようにしている。

【話し合いの様子】

小森さん 質問することを整理するために、話し合ったことを記録するね。私は、運転士さんがどんなことを大切にしているかを聞きたいな。さつと、乗客の安全を大切にしていると思うな。

清川さん ぼくがよく乗るバスはいつも時間どおりに来るよ。時間を守ることも大切にしていると思うな。

町田さん 安全を考えながら時間を守ることは、大変そうだよな。

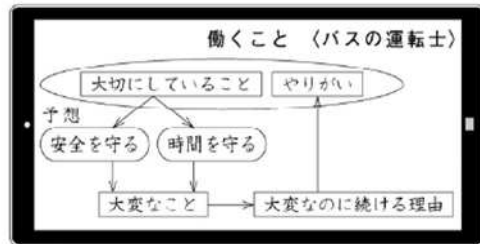
小森さん 確かに、大変そうだね。【仕事で大切にしていること】で話してくれたことをさつかけにして、【仕事で大変なこと】を聞くことができるかもしれないよ。

清川さん バスの運転士は、楽しそうだなと思ってはいたけど、大変なこともありそうだね。大変なことがあっても仕事を続けている理由も聞きたいな。

町田さん さつと仕事にやりがいがあるからだよ。

清川さん ぼくもそう思うな。大切にしていることとやりがいについては、働くことについて考えるためにもぜひ聞きたいね。

小森さん うん、そうしよう。ここまでの話し合いの記録をこんなふうにまとめたよ。この進め方でもいいかな。



<問題の概要> 【話し合いの記録】の書き表し方を説明したものとして適切なものを選択する問題

【話し合いの様子】

小森さん 質問することを整理するために、話し合ったことを記録するね。私は、運転士さんがどんなことを大切にしているかを聞きたいな。さつと、乗客の安全を大切にしていると思うな。

清川さん ぼくがよく乗るバスはいつも時間どおりに来るよ。時間を守ることも大切にしていると思うな。

町田さん 安全を考えながら時間を守ることは、大変そうだよな。

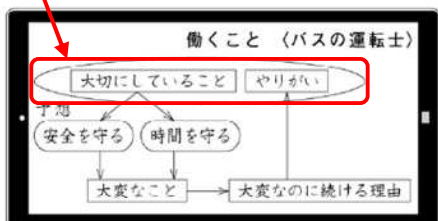
小森さん 確かに、大変そうだね。【仕事で大切にしていること】で話してくれたことをさつかけにして、【仕事で大変なこと】を聞くことができるかもしれないよ。

清川さん バスの運転士は、楽しそうだなと思ってはいたけど、大変なこともありそうだね。大変なことがあっても仕事を続けている理由も聞きたいな。

町田さん さつと仕事にやりがいがあるからだよ。

清川さん ぼくもそう思うな。大切にしていることとやりがいについては、働くことについて考えるためにもぜひ聞きたいね。

小森さん うん、そうしよう。ここまでの話し合いの記録をこんなふうにまとめたよ。この進め方でもいいかな。



子どもたちは、この問いを次のように解決していきます。

話し合いの様子から、図に要点を書き出してみただね。



読解力
⑪ 要点
具体と抽象

「大切にしていること」「やりがい」が質問したい内容だね。



話し合いの様子を、流れに沿って整理すると図のようになるんだね。だから答えは2になるよ。



【思考スキル】
関係づける



～ 小学校5年「問題を解決するために話し合おう」の授業づくり ～

東京書籍「新しい国語」5年 P.118～



クラスの読書量を増やすためにはどうしたらいいでしょうか。



私たちのグループは色々な取り組みを出し合ったよ。それをどうやって整理して、まとめていくのかな…。

意見を分類して、同じような取り組みをまとめてみるのはどうかな。



クラスの読書量を増やすために			
まとめ	①本をしょうかいする	②本を読む時間を決める	③教室に本を置く
取り組み	おすすめする本を日直が朝の会でしょうかいする。 クラスの人に興味を持ちそうな本を図書室で借りてきてしょうかいする。 司書さんに本をしょうかいしてもらう。	朝学で読書タイムを作る。 宿題で読書をする。	教室に新しい本を置く。 家からおすすめの本を持ってくる。



同じような取り組みごとに整理することができたよ。
①本をしょうかいする ②本を読む時間を決める ③教室に本を置くに、まとめることができたよ。

【思考スキル】
関係づける

読解力
⑪要点
具体と抽象



整理した中で、より読書量を増やす取り組みはどれだろう？



朝の会で、日直が「おすすめ本」のしょうかいをすると、みんなが本に興味をもつと思うよ。

そうだね。その「おすすめ本」を教室に展示すると、その本を読んでみようとするんじゃないかな。



話し合いの際に、**考えをより明確にする**ためには、集めた**情報と情報**を**関係付ける**など、図で整理すると分かりやすくなります。



算数の問題

出題の趣旨 目的に応じて適切なグラフを選択してデータの特徴や傾向を捉え判断し、その判断の理由を表現する。

1

あいりさんたちは、2026 年度からブロッコリーが指定野菜に追加されることをニュースで知り、指定野菜について調べることにしました。

- (2) あいりさんは、自分たちが住んでいる都道府県 A のブロッコリーの出荷量が、増えたかどうかを調べています。調べていると、2013 年と 2023 年について、右のグラフ 2 とグラフ 3 を見つけました。



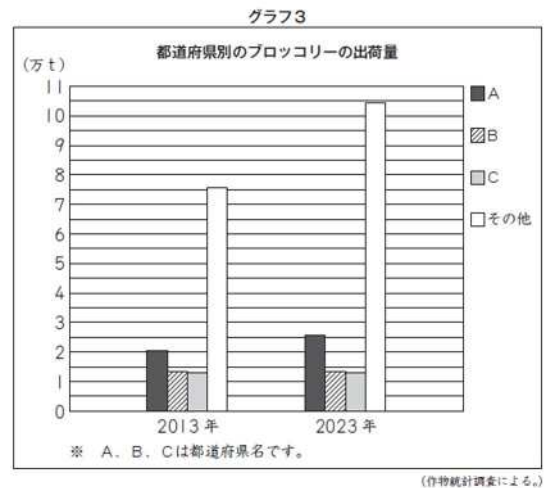
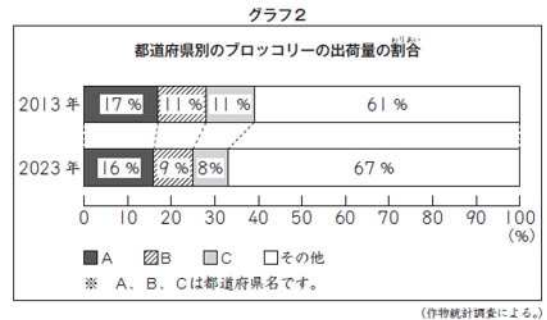
グラフ 2 とグラフ 3 を見つけたけれど、どちらか 1 つのグラフを見れば、都道府県 A のブロッコリーの出荷量が、増えたかどうかわかります。

2023 年の都道府県 A のブロッコリーの出荷量が、2013 年より増えたかどうかを、下の ア と イ から選んで、その記号を書きましょう。

また、その記号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。そのとき、どちらのグラフのどこに着目したのかわかるようにしましょう。

ア 2023 年は 2013 年より増えた。

イ 2023 年は 2013 年より減った。

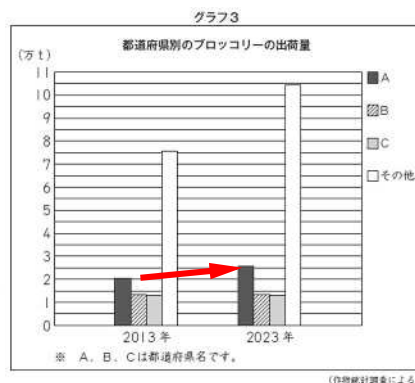
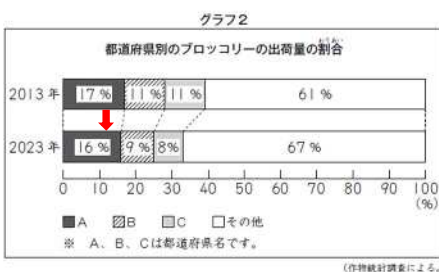


<問題の概要>

都道府県 A のブロッコリーの出荷量が増えたかどうかを調べるために、適切なグラフを選び、出荷量の増減を判断し、その理由を書く問題

子どもたちは、この問いを次のように解決していきます。

グラフ 2 とグラフ 3 を見つけたけれど、どちらか 1 つのグラフを見れば、都道府県 A のブロッコリーの出荷量が、増えたかどうかわかります。



文章と資料を併せて見よう。都道府県 A のブロッコリーの出荷量の変化を表したグラフは「グラフ 3」だね。

【思考スキル】
関係づける



2023 年の都道府県 A のブロッコリーの出荷量が、2013 年より増えたかどうかを、下の ア と イ から選んで、その記号を書きましょう。

また、その記号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。そのとき、どちらのグラフのどこに着目したのかわかるようにしましょう。

ア 2023 年は 2013 年より増えた。

イ 2023 年は 2013 年より減った。

「グラフ 3」の 2013 年と 2023 年の都道府県 A を比べると、0.5t 増えていることが分かるから、「ア」なんだね。



【思考スキル】
理由づける



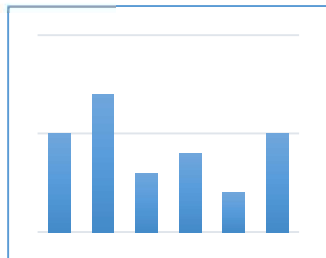
～ 小学校5年生 帯グラフと円グラフ 学習のしあげ ～

東京書籍「続編新しい算数」5年(下)P.90



先生

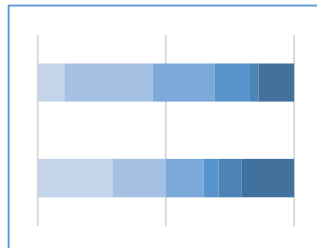
調べたいことを1つ決め、グラフを使って分かりやすく説明しよう。



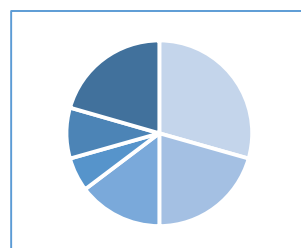
棒グラフ



折れ線グラフ



帯グラフ

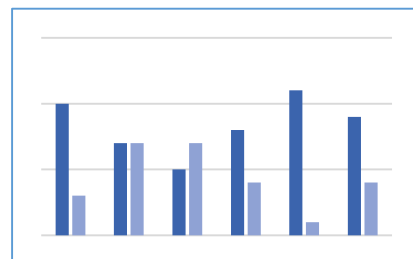


円グラフ

みんなの好きな教科が1番気になるから、アンケートをとってグラフにしてみようかな。
5年生と6年生の好きな教科を調べて、どちらの学年が、算数が好きな人が多いか知りたいよ。



5年生は20人、6年生は35人だよ。
棒グラフをみると、算数が好きな児童は、
5年生が7人、6年生は12人だったから、
6年生の方が算数を好きな人が多いね。



…あれ？
学年全体の人数が違うのに、このグラフはだめだと思うな。

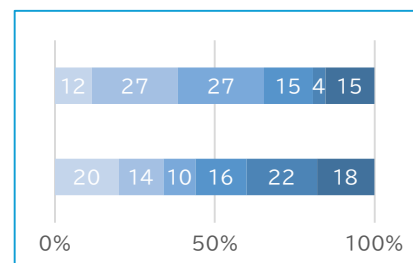
【思考スキル】
関係づける



帯グラフにしてみると、5年生は35%、6年生は34.2%
だったからやっぱり5年生の方が多い。
割合で考える必要があったね。

【思考スキル】

理由づける

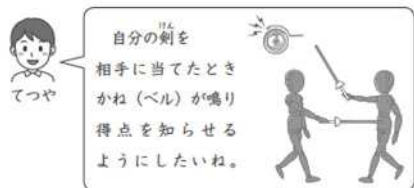


グラフを扱うときは、目的に応じてどのようなグラフを選択して伝えたいことを説明するの
か、理由も併せて考えさせることが大切になります。

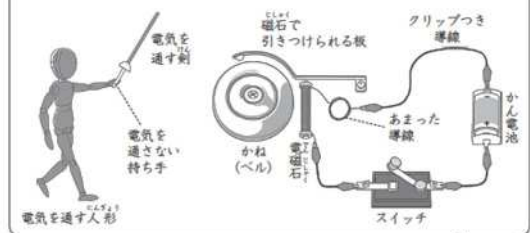
小学校理科の問題

出題の趣旨 電気の回路のつくり方について、実験の方法を発想し、表現することができるかどうかをみる。

てつやさんといおりさんは、これまでに学習した電気の性質を利用して、フェンシングのおもちゃをつくることができないか、話しています。



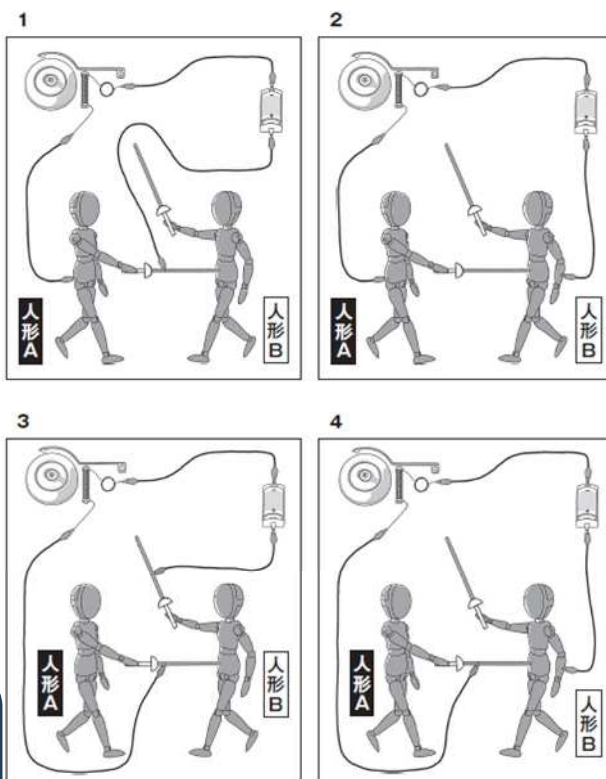
これらの物を使ってつくことはできないかな。



電気を通す剣
電気を通さない持ち手
電気を通す人形
磁石で引きつけられる板
かね（ベル）
あまった導線
スイッチ
かん電池

電気を通す剣や磁石で引きつけられる板を、アルミニウム、鉄、銅のどれでつくろうかな。

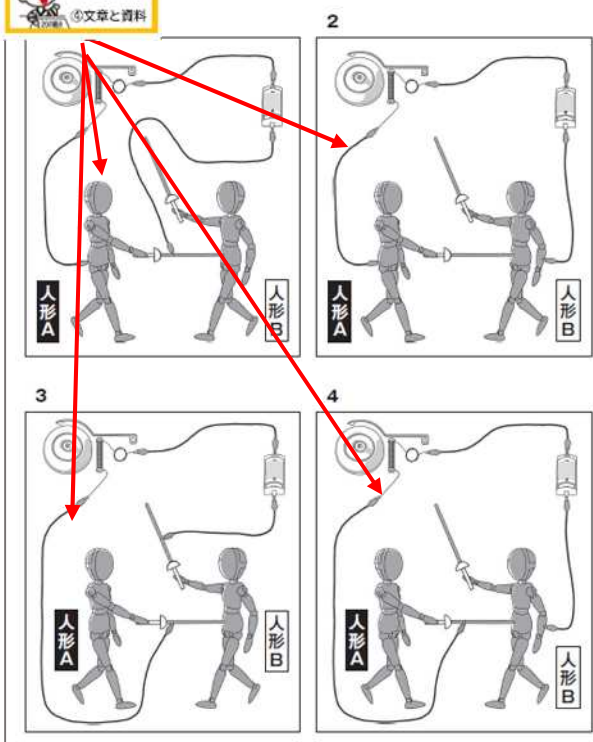
(2) 「人形Aの剣を人形Bに当てたときだけ、かね（ベル）が鳴る」のは、どのような回路でしょうか。下の 1 から 4 までのの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。



<問題の概要>

電気を通す物と通さない物でできた人形について、人形Aの剣を人形Bに当てたときだけ、ベルが鳴る回路を選ぶことができるかを問う問題

(2) 「人形Aの剣を人形Bに当てたときだけ、かね（ベル）が鳴る」のは、どのような回路でしょうか。下の 1 から 4 までのの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。



子どもたちは、この問いを次のように解決していきます

4つの図を比べた(比較した)ときに、何が違うのかな？ 人形には電流が流れるんだよね？

【思考スキル】
比較する

人形の持ち手には電気を通さないと書いてあるよ！
電気を通すには回路がつながっていることが必要だから、答えは4だね！

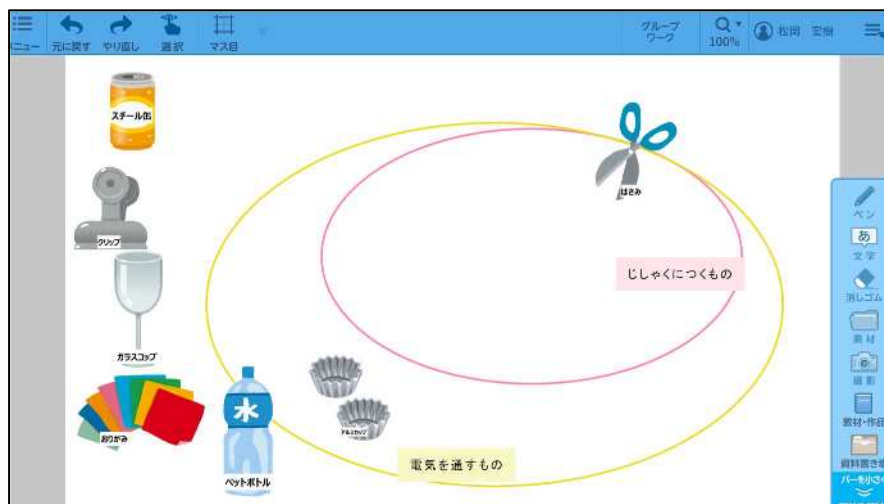
【思考スキル】
関連づける

～「これまでの学習をつなげよう 電気を通すもの・じしゃくにつくもの」～
啓林館「わくわく理科」3年P.148

★思考ツール「ベン図」を提示して、それぞれの「もの」をどこに配置させたらよいかを考えさせる



これまでに勉強したことを使って、7つの「もの」が「ベン図」のどこに当てはまるか、わけてみよう！
悩むときは、道具を使って確かめてみよう。



【思考スキル】
比較する

ほかの「もの」と比べると、たしか、クリップは、電気も通ったし、じしゃくにもついたよ！

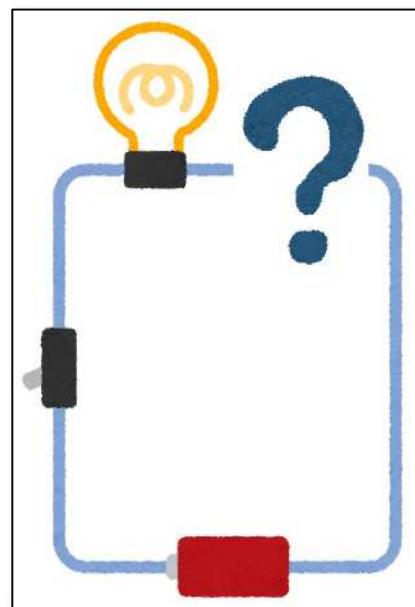


じしゃくにつくものの性質と、電気を通すものの性質を思い出してみよう。コップはガラスだからじしゃくにはつかないよね？
アルミカップはどうなんだろう？
はさみは、材料がちがう部分があるから…？

【思考スキル】
関連づける



実験して、確かめてみよう！
前の実験方法を思い出して、回路を作って調べてみたらわかると思うよ。



実験をして、知識を得る⇒得た知識を使って、別の課題を考える⇒考えた中で出てきた疑問は、また実験をして確かめる…。くりかえすことで、「実験の方法を発想」し、「表現する」ことができるようになります。



【ちらし】

第一中学校 美術展

毎年、秋に行っている第一中学校の美術展のお知らせです。
私たちが美術の時間につくった作品を展示します。どれもかいいしんの出来です。

今年は、中学生による作品の説明や小学生向けの体験コーナーもあります。
体験コーナーでは、中学生と一緒に、好きな色のタイルを貼って自分だけのペン立てをつくることができます。

日時 令和7年11月15日（土） 10時～16時
場所 第一中学校 体育館
会場図

体験できる時間（各回30分間）
①10時～ ②11時～ ③12時～ ④13時～

1 第一中学校では、毎年、美術の時間につくった作品を展示する美術展を行っています。今年は、昨年の美術展に会場した小学生の感想をもとに、内容を工夫して開催します。実行委員の中井さんは、地域の小学校6年生に向けて、来場を促すためのちらしを作成することになりました。次は、中井さんが参考にした【第一中学校のウェブページ上のお知らせ】と、文書作成ソフトを用いて作成している【ちらし】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

二 中井さんは、【ちらし】に、【第一中学校のウェブページ上のお知らせ】には示されていない「会場図」を加えました。どのような目的で加えたと考えられますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 小学校6年生に向けたちらしであることを示すため。
- 2 ウェブページの情報と比較しやすくするため。
- 3 会場となる体育館まで迷わずに来てもらうため。
- 4 展示する作品と体験コーナーの内容や配置を伝えるため。

<問題の概要>

ちらしに「会場図」を加えた目的を説明したものと、適切なものを選択する問題。

子どもたちは、この問いを次のように解決していきます。

【第一中学校のウェブページ上のお知らせ】

第一中学校

ホーム 学校紹介 行事予定 学校生活 保護者の方へ

行事のご案内 更新日 令和7年10月3日

美術展の開催のお知らせ

秋の恒例となった「第一中学校 美術展」を開催いたします。各学年の生徒たちは、美術展に向けて作品づくりに励んでおります。ご多忙とは存じますが、生徒たちの力作をご覧いただければ幸いです。ご来校をお待ちしております。

◆開催日時
令和7年11月15日（土） 10時～16時
◆開催場所
第一中学校 体育館

【ちらし】の目的は、地域の小学校6年生に向けて、来場を促すことだね。

「第一中学校のウェブページ上のお知らせ」と「ちらし」を比較してみよう。



【ちらし】

第一中学校 美術展

毎年、秋に行っている第一中学校の美術展のお知らせです。
私たちが美術の時間につくった作品を展示します。どれもかいいしんの出来です。

今年は、中学生による作品の説明や小学生向けの体験コーナーもあります。
体験コーナーでは、中学生と一緒に、好きな色のタイルを貼って自分だけのペン立てをつくることができます。

日時 令和7年11月15日（土） 10時～16時
場所 第一中学校 体育館
会場図

体験できる時間（各回30分間）
①10時～ ②11時～ ③12時～ ④13時～

「ちらし」に会場図があることで、体育館の中の展示作品と体験コーナーの配置がどうなっているかが一目でわかるようになっているよ。だから、4となるね。



【思考スキル】

具体化する



～ 中学校 1 年「項目を立てて書こう 案内文を書く」より ～

光村図書 国語1年 P.116～



先生

この日は、同じ校区の小学6年生が中学校見学もかねて、合唱祭に来ます。6年生に合唱祭の案内を送る場合は、どのように書けばよいでしょうか。6年生に合唱祭が楽しみだと思ってもらえるような案内文にしましょう。



「地域の皆様」の案内文を参考に比較しながら読むと、「6年生のみなさん」の案内文は の部分を6年生向けに変えた方がよさそうだな。



案内文の対象である6年生がどんなことを知りたいか…。担任の先生と一緒に来るなら、校舎配置図よりも、どんな曲を歌うかが分かっている方が合唱祭が楽しみになりそうだ。それを具体化すると…



〇〇年 9 月 3 日

地域の皆様

東中学校合唱祭実行委員会

第 20 回 東中学校合唱祭のご案内

新秋の候、皆様、いかがお過ごしでしょうか。
さて、このたび、第 20 回東中学校合唱祭を下記のとおり開催します。どうぞお誘い合わせのうえ、お越しください。

記

- 日時 9 月 24 日（金） 9：00 開場
11：45 終了予定
- 場所 東中学校体育館
- 当日の流れ

9：30 ～ 9：45 開会式

9：45 ～ 10：15 1 年生発表

10：15 ～ 10：45 2 年生発表

10：45 ～ 11：00 休憩

11：00 ～ 11：30 3 年生発表

11：30 ～ 11：40 閉会式
- オンライン配信について
合唱祭当日に、オンラインで発表の様子を配信します。
詳しくは、本校公式ウェブサイトをご覧ください。
本校公式ウェブサイト <https://www...>
- その他
 - ・当日は、東門からお入りください。
 - ・スリッパなどをご用意ください。
 - ・駐車場がありませんので、車での来校はおひかえください。

以上

〇〇年 9 月 3 日

東小学校 6 年生のみなさん

東中学校合唱祭実行委員会

第 20 回 東中学校合唱祭のご案内

日中は夏と変わらない暑い日が続きますが、日が落ちるのが少しずつ早くなり、秋を感じます。

さて、このたび、第 20 回東中学校合唱祭を下記のとおり開催します。合唱祭では各学年が様々な曲を歌います。楽しみに来てください。

記

- 日時 9 月 24 日（金） 9：00 開場
11：45 終了予定
- 場所 東中学校体育館
- 当日の流れ

9：30 ～ 9：45 開会式

9：45 ～ 10：15 1 年生発表

10：15 ～ 10：45 2 年生発表

10：45 ～ 11：00 休憩

11：00 ～ 11：30 3 年生発表

11：30 ～ 11：40 閉会式

合唱曲

1－1「〇〇〇〇」

1－2「△の△△」

1－3「□の歌」

2－1「◇◇◇◇」

…
- その他
 - ・ 上ぐつをご用意ください。
 - ・ 〇〇〇…

以上

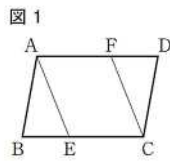


文章を書くときは、**目的(相手)**に応じて、集めた材料を**整理**し、伝えたいことが明確になるように**具体化**することが大切です。

学習の中で、学校行事等の案内を実際に書いてみるなど、つけた力を活用できる場面を設定してみましょう。

- ⑨ 右の図1のように、平行四辺形ABCDの辺BC、DA上に、 $BE = DF$ となる点E、Fをそれぞれとります。

このとき、四角形AECFは平行四辺形になります。このことは、次のように証明できます。



証明 1

平行四辺形の向かい合う辺は平行だから、

$$AD \parallel BC$$

よって、 $AF \parallel EC$ ……①

平行四辺形の向かい合う辺は等しいから、

$$AD = BC$$

仮定より、

$$DF = BE$$

②、③より、

$$AD - DF = BC - BE$$

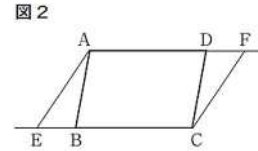
④より、

$$AF = EC$$

①、⑤より、

1組の向かい合う辺が平行でその長さが等しいから、四角形AECFは平行四辺形である。

- (2) 次の図2のように、平行四辺形ABCDの辺CB、ADを延長した直線上に、 $BE = DF$ となる点E、Fをそれぞれとって、四角形AECFは平行四辺形になります。このことは、前ページの証明1の一部を書き直すことで証明できます。書き直すことが必要な部分を、下のアからオまでの中から1つ選び、正しく書き直さない。



ア
イ
ウ
エ
オ

平行四辺形の向かい合う辺は平行だから、

$$AD \parallel BC$$

よって、 $AF \parallel EC$ ……①

平行四辺形の向かい合う辺は等しいから、

$$AD = BC$$

仮定より、

$$DF = BE$$

②、③より、

$$AD - DF = BC - BE$$

④より、

$$AF = EC$$

①、⑤より、

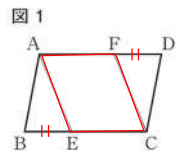
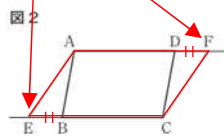
1組の向かい合う辺が平行でその長さが等しいから、四角形AECFは平行四辺形である。

<問題の概要>

平行四辺形ABCDの辺CB、ADを延長した直線上に $BE = DF$ となる点E、Fを取っても、四角形AECFは平行四辺形となることの証明を完成する問題

子どもたちは、この問いを次のように解決していきます。

- (2) 次の図2のように、平行四辺形ABCDの辺CB、ADを延長した直線上に、 $BE = DF$ となる点E、Fをそれぞれとって、四角形AECFは平行四辺形になります。このことは、前ページの証明1の一部を書き直すことで証明できます。書き直すことが必要な部分を、下のアからオまでの中から1つ選び、正しく書き直さない。



- ア 平行四辺形の向かい合う辺は平行だから、
 $AD \parallel BC$
よって、 $AF \parallel EC$ ……①
- イ 平行四辺形の向かい合う辺は等しいから、
 $AD = BC$ ……②
- ウ 仮定より、
 $DF = BE$ ……③
- エ ②、③より、
 $AD - DF = BC - BE$ ……④
- オ ④より、
 $AF = EC$ ……⑤
- ①、⑤より、
1組の向かい合う辺が平行でその長さが等しいから、
四角形AECFは平行四辺形である。

文章を図に表すとわかりやすくなるね。



変わったところを、文章と図と式を関係づけて考えるとわかるよ。

【思考スキル】
関係づける



「エ」の式の引き算を、足し算に変えたら証明が完成するね。

【思考スキル】
評価する



～ 中学校 2 年生 図形の性質と証明 ～

啓林館「未来へひろがる数学」2 年 P. 147

平行四辺形 ABCD で、図1のように対角線 AC 上に $AE = CF$ となる点 E、F をとるとき、
 $BE = DF$ であることを次のように証明した。

図1

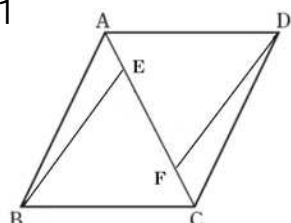
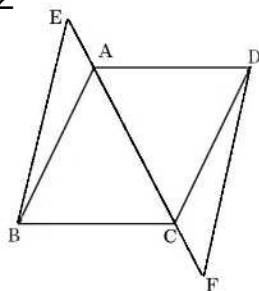


図2



(証明)

$\triangle ABE$ と $\triangle CDF$ で、

仮定より、 $AE = CF$ ……①

平行四辺形の向かいあう辺は等しいので、

$AB = CD$ ……②

平行線の錯角は等しいので、 $AB \parallel DC$ から、

$\angle BAE = \angle DCF$ ……③

①、②、③から、2 組の辺とその間の角が、それぞれ等しいので、

$\triangle ABE \equiv \triangle CDF$

合同な図形では、対応する辺は等しいので

$BE = DF$



I
II
III
IV

「対角線 AC 上」を「直線 AC 上」に変えて、
 図2のように点 E、F をとった場合、
 上の証明はそのまま成り立つでしょうか。



まずは、文章・式・図を関係づけて考えるために、
 図2に分かっていることを整理してみよう。

【思考スキル】
 関係づける



Ⅲが成り立つと言えれば、図1のときと
 同じように証明できそうだね。



平行線の錯角は等しいので、 $AB \parallel DC$ から、

$\angle BAE = \angle DCF$ ……③

Ⅲ

【思考スキル】
 評価する



ここにどんな言葉や式を入れるといいのかな。

条件を変えた場合について、共通点・相違点に着目し、問題解決の過程を振り返りながら、
 解決方法を考えます。

このように問題解決の過程を評価・改善することで、論理的に説明する力を育成します。



出題の趣旨 【考察】をより確かなものにするために、音に関する知識及び技能を活用して、変える条件に着目した実験を計画し、予想される実験の結果を適切に説明できる。

2

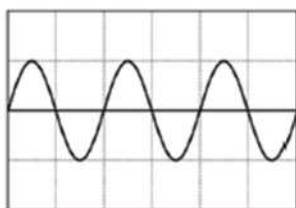
理科の授業で、ストローと水の入っているペットボトルで楽器をつくり、音について科学的に探究しています。

(1)、(2)の各問いに答えなさい。



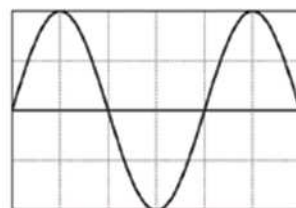
【実験】「ストロー内の空気が入る長さ（ の部分）」を変えて実験を行ったときのオシロスコープの波形を観察しました。

実験1



オシロスコープの波形

実験2



オシロスコープの波形



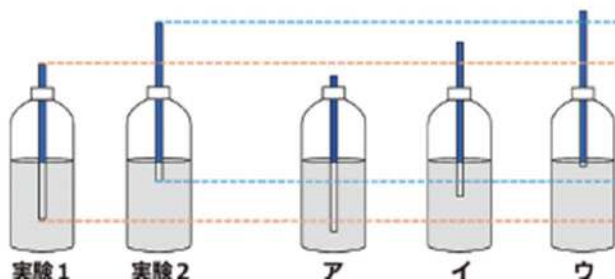
右のように【考察】しました。

【考察】

「ストロー内の空気が入る長さ（ の部分）」が、長くなるにつれて、音はだんだん低くなる。



【考察】をより確かなものにするためには、あと1つ実験を行うとよいですね。次のア、イ、ウのどれで実験を行えばよいのかな。



ストローの高さが分かるように補助線を引いている

(1)

下線部について、【考察】をより確かなものにするために1つ実験を追加するとしたら、上のア、イ、ウのうち、あなたはどの実験を選びますか、1つ選びなさい。

上のア、イ、ウのどの実験を選んでかまいません。

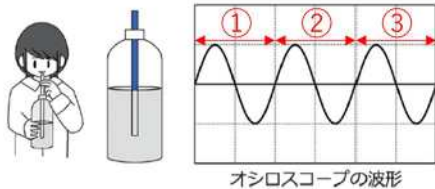
また、上で選んだ実験を行ったときに、オシロスコープの波形から何が分かればよいのか、振動数という言葉を使って書きなさい。

<問題の概要>

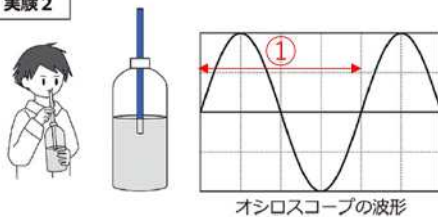
【考察】をより確かなものにするために必要な実験を選択し、予想される実験の結果を書く問題

子どもたちは、この問いを次のように解決していきます。

実験 1



実験 2



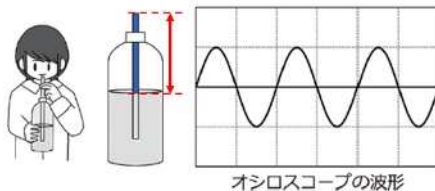
【思考スキル】

関連づける

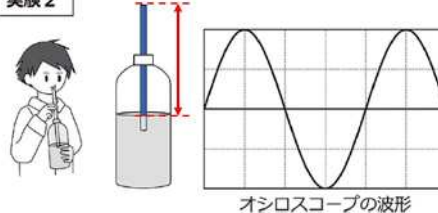
ストローの空気の入る長さ、オシロスコプの波形(振動数)の関係を調べるんだね。



実験 1



実験 2



ストロー内の空気が入る長さを比較してみよう。実験2の方が長いね。

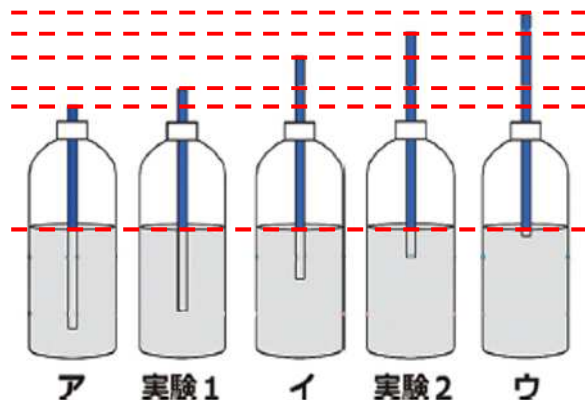


【考察】

「ストロー内の空気が入る長さ（■の部分）」が、長くなるにつれて、音はだんだん低くなる。



分かったことを整理すると、【考察】にあるようにストロー内の空気が入る長さ、音の高さには因果関係がありそうだなあ。



実験1・実験2・ア・イ・ウのストロー内の空気が入る長さを比較してみよう。短い方から順に並べると、ア・実験1・イ・実験2・ウになるね。



ということは【考察】から音の高い方からア・実験1・イ・実験2・ウの順になりそうだね。



アは、最もストローの空気の入る長さが短いから、振動数は多くなるね。

【思考スキル】

推論する

イならば実験1と実験2の間だ。ウならば振動数は少なくなるよ。



～ 身のまわりのものから発生する気体の授業づくり ～

啓林館「未来へひろがるサイエンス」1年 P. 159

発砲入浴剤



発生した気体が何かつきとめてみよう！ただし、これまでに習った気体のどれかだよ。

発生する気体が何かどうやって調べようかなあ…

これまでに習った気体の集め方や性質をもとに実験を計画してみよう！

【思考スキル】

関連づける

そういや気体を集める方法が3つあったなあ…水上置換法ができるかできないかで何の気体が絞り込めるかもなあ…

水上置換法で気体が集められたら、習った中では無臭の気体ばかりだから、無臭であることの確認もしたいね。

【思考スキル】

推論する

気体が「水素」と断定する方法って何があるかなあ…

前、試験管に集めた水素にマッチの火を近づけたら音を立てて燃えたね。集めた気体にマッチの火を近づけてみようか。

そういえば、線香の火を試験管に集めた気体に入れたこともあったね。あれは確か酸素だったかな。それもやってみよう！



実験の計画を立てるときに、「何となく実験をやってみる」ではなく、
「その操作をすることでどのような結果が得られるか」の予想を立てた上で実験を行う等、
どのような方法で課題解決に向けた結果を得るのかを計画する機会を多く設けていくことが大切です。



読解力を育む「20の観点」 【小学校版】

作成：四日市市教育委員会指導課

監修：三重大学教育学部教授 守田 庸一

※ここでいう読解力とは主に説明的な文章（教科書・新聞・パンフレット・ポスター・解説書など）の読み取りを意味しています。

※◎になっている学年は、重点的に学習する学年です。○になっている学年でも、くり返し学習してください。

		1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	主語と述語の関係を理解する	◎	◎	○	○	○	○
2	共通・相違の関係を理解する	◎	◎	○	○	○	○
3	題名や見出しとその役割を理解する	○	◎	○	○	○	○
4	文章と資料（写真やイラスト等）を合わせて読める	◎	○	○	○	○	○
5	問いと答えの関係を理解する	◎	○	○	○	○	○
6	事柄の順序（時間、作業手順、優先度など）を理解する	◎	◎	○	○	○	○
7	修飾と被修飾の関係を理解する			◎	◎	○	○
8	指示する語句や接続する語句の役割を理解する			◎	◎	○	○
9	形式段落・意味段落の役割について理解する		○	◎	◎	○	○
10	文章構成（序論・本論・結論など）を理解する		○	◎	◎	○	○
11	形式段落等の要点をとらえる（抽象と具体）			◎	○	○	○
12	考えとそれを支える理由や事例等の関係を理解する（因果関係）	○	○	◎	◎	○	○
13	比較（対比・類比）や分類の仕方を理解する		○	◎	◎	○	○
14	目的を意識して、内容の中心となる語や文を選んで文章を要約する（抽象と具体）			◎	◎	○	○
15	様々な表現の技法を理解する（比喩や反復、倒置等）	○	○	○	○	○	◎
16	思考に関わる語句（しかし、つまり、例えば等）を理解する				○	◎	○
17	文章全体の構成を捉え、要旨を把握する（事実と感想、意見などとの関係）				○	◎	◎
18	文章と資料（図表やグラフ等）の関係を理解する			○	○	◎	◎
19	論の進め方等、筆者の意図を考える			○	○	◎	◎
20	文章の種類や特徴を理解する（紹介、提案、推薦、案内、解説等）				○	◎	◎

※ここでの読解力とは主に説明的な文章（教科書・新聞・パンフレット・解説書・評論文・解説文など）の読み取りを意味しています。

※「読むこと」の力を育成するためには、「話すこと・聞くこと」や「書くこと」と関連させて指導してください。

※色が濃くなっている学年は、重点的に育成する学年です。それ以外の学年でも、実態に合わせて系統的・継続的に指導してください。

		1年	2年	3年
1	段落ごとの内容や段落相互の関係を捉える			
2	筆者の意見と事実との関係を理解する			
3	要旨を捉える			
4	目的に応じて必要な情報に着目して要約する			
5	文章の構成や展開の効果等について考える			
6	比較（対比・類比）や分類の仕方を理解する			
7	筆者の意見とそれを支える根拠との関係を理解する			
8	原因と結果の関係を理解して理解する（因果関係）			
9	文章全体と部分の関係に着目して読む			
10	文章と図表などを結び付けながら、筆者の主張をより正確に理解する			
11	文章の構成や論理の展開について理解する			
12	表現の効果について理解する			
13	根拠に説得力があるかどうかを吟味する			
14	文章の構成における具体と抽象の関係を理解する			
15	主張と根拠との関係等、内容を吟味しながら読む			
16	文章の構成や論理の展開が分かりやすく適切なものであるか、評価して読む			
17	筆者のものの見方や考えの進め方等を捉え、文章の内容を正確に理解する			
18	情報の信頼性を確かめながら読む			
19	具体と抽象の関係を捉えて読む			
20	文章の種類とその特徴について理解する（意見文、感想文、記録文、報告文、解説文等）			

「考える」を具体的に表した言葉『思考スキル』

【思考スキル一覧】

思考スキル	定義	思考スキル	定義
多面的にみる	多様な視点や観点にたって対象を見る	抽象化する	事例からきまりや包括的な概念をつくる
変化をとらえる	視点を定めて前後の違いをとらえる	焦点化する	重点を定め、注目する対象を決める
順序立てる	視点も基づいて対象を並び替える	評価する	視点や観点をもち根拠に基づいて対象への意見をもつ
比較する	対象の相違点、共通点を見つける	応用する	既習事項を用いて課題・問題を解決する
分類する	属性に従って複数のものをまとまりに分ける	構造化する	順序や筋道をもとに部分同士を関係づける
変換する	表現の形式(文・図・絵など)を変える	推論する	根拠にもとづいて先や結果を予想する
関係づける	学習事項同士のつながりを示す	具体化する	学習事項に対応した具体例を示す
関連づける	学習事項と実体験・経験のつながりを示す	広げてみる	物事についての意味やイメージ等を広げる
理由づける	意見や判断の理由を示す	要約する	必要な情報に絞って情報を単純・簡単にする
見通す	自らの行為の影響を想定し、適切なものを選択する。		

《参考》

R7 年度 四日市市 質問紙調査データ

(小学校)		(中学校)	
児童質問紙調査	学校質問紙調査	生徒質問紙調査	学校質問紙調査
			